



14.5  
120

史蹟名勝天然紀念物調查報告 第一号  
福井縣編

始



大正十三年九月

史蹟名勝天然紀念物調查報告

(第一號)

福井

緒言

本縣ハ大正六年度ヨリ史蹟名勝天然紀念物調査保存事務ニ著手シ己ニ史蹟ニ付テハ殆ンド完全ナル調査ヲ遂ゲ大正九年四月並同十年三月ノ兩回ニ亘リテ之ガ結果ヲ發表シタリ次デ同十一年度ヨリ天然紀念物ノ調査ニ著手シ昨十二年度中ニ右植物方面ノ大部並一部名勝地等ノ調査ヲ完了シ茲ニ發表スル所以ナリ  
本書ハ委員安藤伊作外六名ノ調査提出セラレタル報告ヲ集録シタルモノナレドモ紙面ノ關係上調査ノ重複セルモノハ之ヲ省略シ且報告ノ通り編輯シ得サリハ遺憾トスル所ナリ、尙別ニ附録トシテ本年四月、六月及本月ノ三回開催シタル史蹟名勝天然紀念物調査委員會ノ協議事項等ヲ登載シタリ、彼是通覽シテ新ノ種ノ研究上更ニ一段ノ歩武ヲ進メラレムコトヲ望ム

大正十三年九月

福井縣史蹟天然紀念物調査委員長

福井縣內務部長 南波 奎

大正 13. 10. 11 内交

目次

自生枇杷 (寫眞版) ..... (一)

九本ダモ (寫眞版) ..... (二)

常神ノ大蘇鐵 (寫眞版) ..... (三)

加斗松原 (寫眞版) ..... (四)

權現大杉 (寫眞版) ..... (五)

女形谷の櫻 (寫眞版) ..... (六)

十二抱ノ大杉 (寫眞版) ..... (七)

一、冠者島概要 ..... (八)

二、大島村地内自生枇杷ノ狀況 ..... (九)

三、一ノ宮神社タブ樹 ..... (一〇)

四、曾尾神社ノ大藤 ..... (一一)

五、九本ダモ ..... (一二)

六、マキ.....流レ楨(假稱) ..... (一三)

七、めを松 ..... (一四)

八、大榿 ..... (一五)

九、平野ノ二本杉 ..... (一六)

一〇、常神大蘇鐵 ..... (一七)

一一、加斗ノ松原 ..... (一八)

同 ..... (一九)

同 ..... (二〇)

同 ..... (二一)

同 ..... (二二)

同 ..... (二三)

同 ..... (二四)

同 ..... (二五)

同 ..... (二六)

同 ..... (二七)

同 ..... (二八)

同 ..... (二九)

同 ..... (三〇)

同 ..... (三一)

同 ..... (三二)

同 ..... (三三)

同 ..... (三四)

同 ..... (三五)

同 ..... (三六)

同 ..... (三七)

同 ..... (三八)

同 ..... (三九)

同 ..... (四〇)

同 ..... (四一)

同 ..... (四二)

同 ..... (四三)

同 ..... (四四)

同 ..... (四五)

同 ..... (四六)

同 ..... (四七)

同 ..... (四八)

同 ..... (四九)

同 ..... (五〇)

史蹟名勝天然紀念物調査委員 安藤伊作

- 一二、不動之瀧ト其植物.....
- 一三、布 袋 松.....
- 一四、本郷之大樺.....
- 一五、父子瀧ト其植物.....
- 一六、松の濱の松.....
- 一七、夫 婦 杉.....
- 一八、田井ノ千年松.....
- 一九、成出の枝垂櫻.....
- 二〇、一 本 松.....
- 二一、大 樺.....
- 二二、宇久ノ社叢.....
- 二三、自 生 柿.....
- 二四、大 櫨.....
- 二五、青郷ノ松並木.....
- 二六、三ツ松ノ松並木.....
- 二七、櫻.....
- 二八、若狭の三本柳.....
- 二九、權 現 大 杉.....
- 三〇、逆杉又ハ大杉様.....
- 三一、公 孫 樹.....

同 同

委員 内田勉一

- .....(三)
- .....(二)
- .....(三)
- .....(三)
- .....(四)
- .....(六)
- .....(六)
- .....(七)
- .....(七)
- .....(八)
- .....(九)
- .....(〇)
- .....(二)
- .....(三)
- .....(三)
- .....(三)
- .....(四)
- .....(五)
- .....(五)
- .....(五)
- .....(八)
- .....(九)
- .....(〇)

- 三二、薄 墨 櫻.....
- 三三、八幡神社大杉.....
- 三四、公 孫 樹.....
- 三五、小坂ノ大杉.....
- 三六、樺.....
- 三七、觀 音 堂 樺.....
- 三八、辨 天 岩.....
- 三九、鷲 ケ 崎.....
- 四〇、新田ノ拔穴.....
- 四一、産 石.....
- 四二、絹 掛 ノ 松.....
- 四三、杉.....
- 四四、あ す な ろ.....
- 四五、樺.....
- 四六、椎.....
- 四七、菅 公 ノ 梅.....
- 四八、椿.....
- 四九、紅 梅.....
- 五〇、紫 雲 松.....
- 五一、楓 樹.....

同 同

委員 金粕今治郎

- .....(三)
- .....(三)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)
- .....(四)

七二、大 櫻  
 七三、大 杉  
 七四、女形谷ノ 櫻  
 七五、大 杉  
 七六、大 杉  
 七七、大 杏  
 七八、辨天ノ 巖  
 七九、辨慶ノ 拔穴  
 八〇、福良ノ 瀧  
 八一、汐見堤ノ 櫻  
 八二、東尋坊  
 八三、櫻  
 八四、十二抱ノ 大杉  
 八五、大 杉  
 八六、禿 杉  
 八七、又葉 朴  
 八八、男女 杉  
 八九、辨天 杉  
 九〇、的場ノ 杉  
 九一、櫻

同 同

委員 吉竹 治

..... (五三)  
 ..... (五四)  
 ..... (五四)  
 ..... (五五)  
 ..... (五五)  
 ..... (五六)  
 ..... (五七)  
 ..... (五七)  
 ..... (五八)  
 ..... (五八)  
 ..... (五九)  
 ..... (六〇)  
 ..... (六一)  
 ..... (六一)  
 ..... (六二)  
 ..... (六三)  
 ..... (六四)  
 ..... (六四)  
 ..... (六四)

五二、櫛 孫  
 五三、公 樹  
 五四、四ッだも 樹  
 五五、お宮ノ 杉  
 五六、新三ノ 杉  
 五七、椎 松  
 五八、松 龍  
 五九、臥 松  
 六〇、椎 林  
 六一、櫻  
 六二、松  
 六三、金山ノ 松並木  
 六四、櫻  
 六五、城戸口 櫻  
 六六、夜叉ヶ 竹  
 六七、大 櫻  
 六八、鞍掛之 松  
 六九、松  
 七〇、新地之 松  
 七一、椎

同 同

委員 白崎 弘

..... (四三)  
 ..... (四四)  
 ..... (四四)  
 ..... (四五)  
 ..... (四五)  
 ..... (四六)  
 ..... (四六)  
 ..... (四七)  
 ..... (四七)  
 ..... (四七)  
 ..... (四八)  
 ..... (四八)  
 ..... (四八)  
 ..... (四九)  
 ..... (五〇)  
 ..... (五一)  
 ..... (五一)  
 ..... (五一)

- 九二、枝垂ざくら……………
- 九三、あかまつ、くろまつ……………
- 九四、銀杏……………
- 九五、八房梅……………
- 九六、荒谷ノ大杉……………
- 九七、轟ノ大杉……………
- 九八、谷口ノ菩提樹……………
- 九九、布曝岩……………
- 一〇〇、玲瀧岩……………
- 一〇一、野良山椒……………
- 一〇二、朝谷ノ御花松……………
- 一〇三、篠尾ノ風穴……………
- 一〇四、隕石……………
- 一〇五、御手植ノ松……………
- 一〇六、九十九磧ノ櫻……………

同 同

- 委員武田信雄……………(六六)
- ……………(六七)
- ……………(六八)
- ……………(六九)
- ……………(七〇)
- ……………(七一)
- ……………(七二)
- ……………(七三)
- ……………(七四)

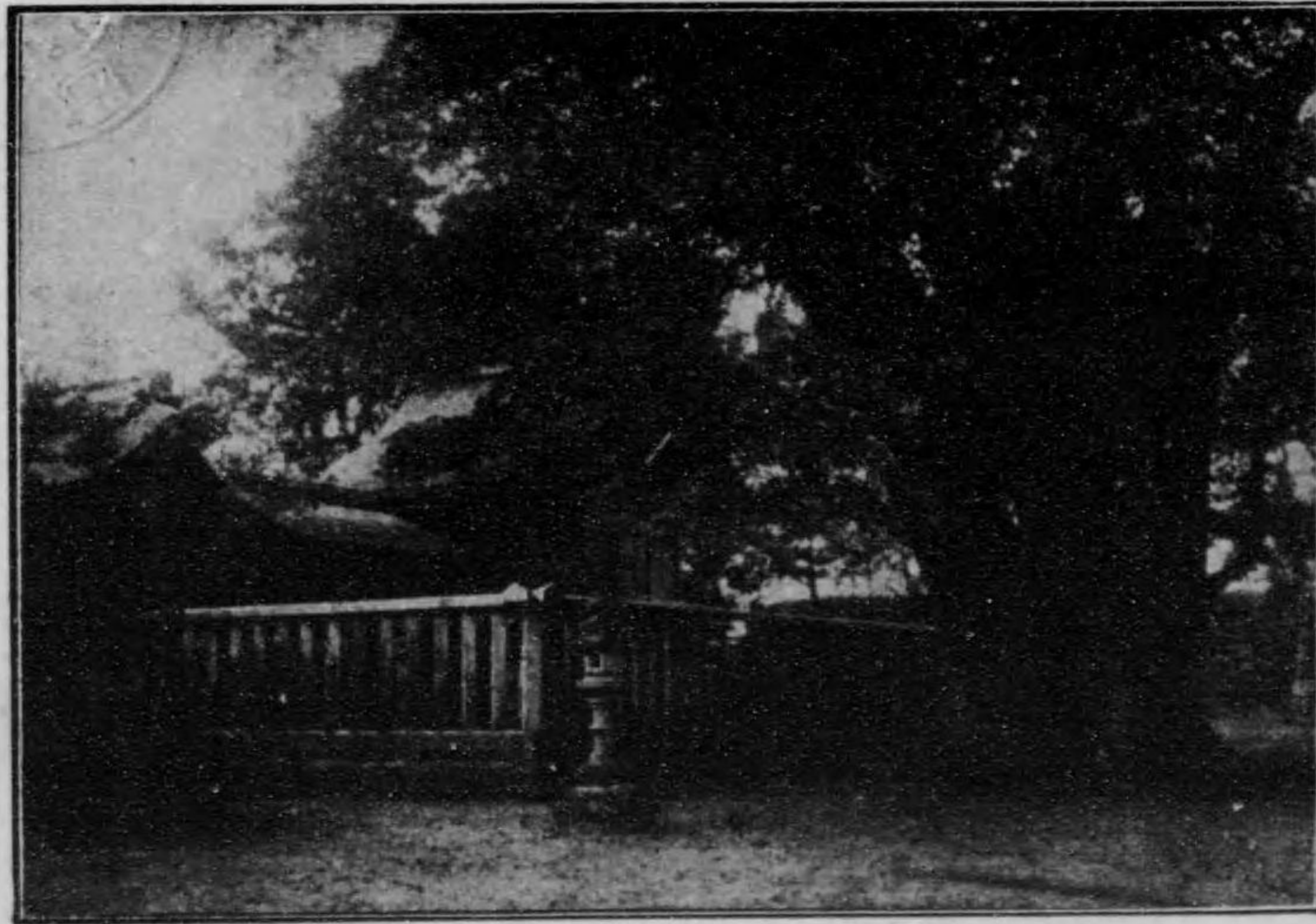
附 録

- 史蹟名勝天然紀念物調査職員……………(一)
- 史蹟名勝天然紀念物調査委員會 第一回……………(二)
- 同 第二回……………(四)

- 同 第三回……………(六)
- 史蹟名勝天然紀念物保護委員……………(八)



(島者冠村島大郡飯大) 杷 枇 生 自



(内境社神濱小社郷原竹村濱雲郡敷遠) モ ダ 本 九



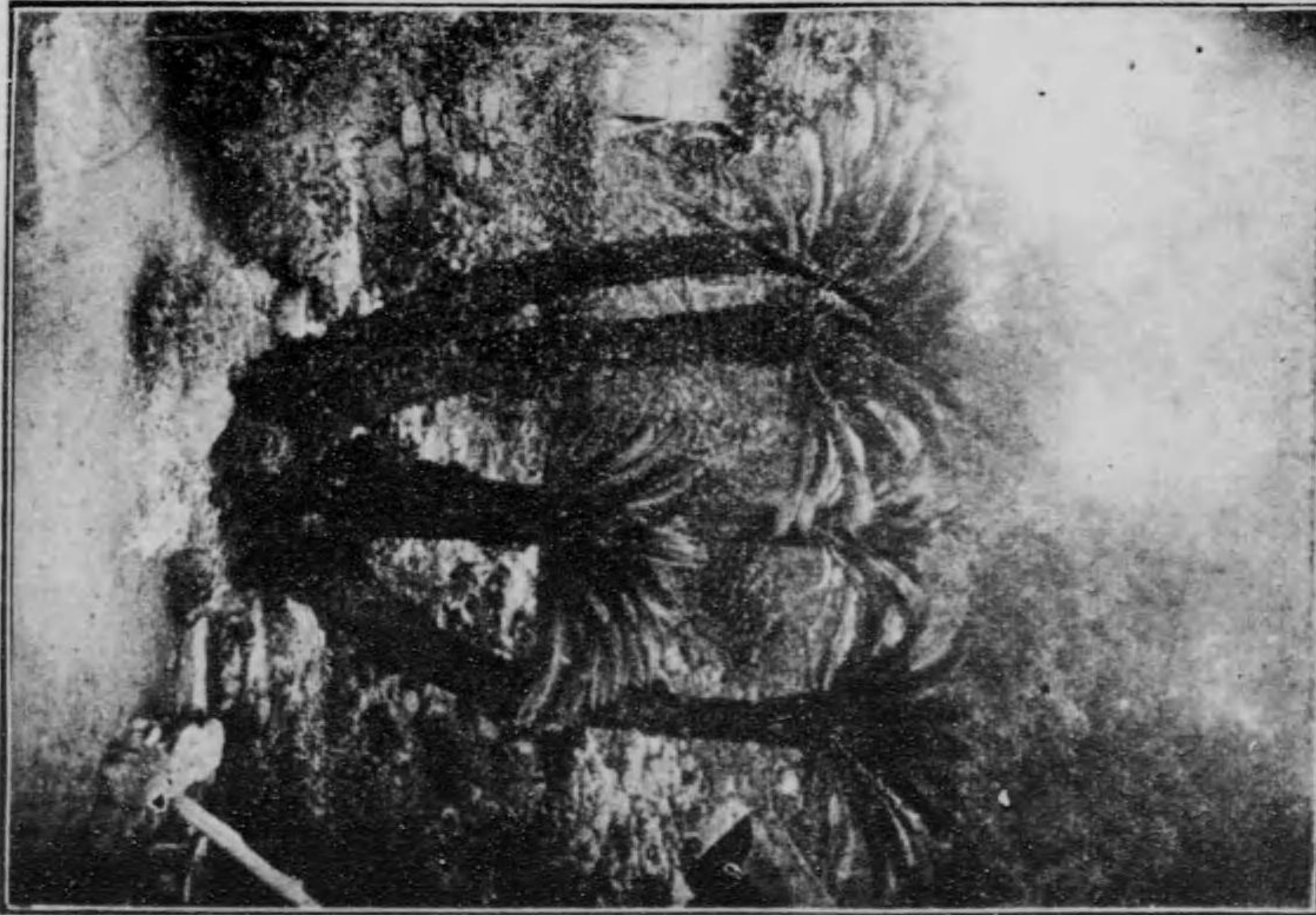
(灘大村本岡郡立今)

杉大現權



(神常古田四野方三)

鐵蘇大ノ神常



(村斗加郡飯大) 原松斗加



(谷形女郡井坂) 櫻の谷形女



(村白徹石郡野大) 杉大ノ抱二十

## 福井縣史蹟名勝天然紀念物調查報告 (第一號)

福井縣史蹟名勝天然紀念物調查委員 安藤伊作

### 冠者島概要

#### 島ノ地勢及地質

冠者島ハ福井縣大飯郡大島村字大島區島山神社ノ東南海上六町餘ノ位置ニアリ東西約一町南北凡三分ノ一町周圍約二町餘ナリ、全島礫質角岩様ノ硅岩ヨリナリ枇杷ノ自生ニ好適通有ト稱セラル、石灰岩ノ存在ヲ認メズ、西方ノ海邊ハ少許ノ砂濱アリテ小舟ヲ寄スルニ便ニ其他ハ岩石崎嶇トシテ或ハ海ニ迫リ或ハ海水ヲ控エテ海藻ヲ蔓ラセリ、山体全部表面ハ腐植土之ヲオホヒ西方ハ傾斜緩ニシテ容易ニ登攀シ得ベク八合目程ノ所ニ小祠アリ其他ハ皆急峻ニシテ登攀容易ナラズ

#### 枇杷ノ自生狀況

枇杷ハ同島東南面中腹部帯ニ限ラレテ叢生シ海風ノ影響ノタメカ樹高大ナルモノナシ樹勢旺盛ニシテ其葉ノ美大ナルモノニハ葉身ノ長サ三十七、メヲ越エ同幅十一セ、メヲ越ユルモノ稀ナラズ、枝条ノ發生モ多ク花叢モ亦大ニシテ強健時恰モ開花期ニ相當シ恰好ノ標本ヲ採取スルヲ得タリ、村當局等ノ談ニヨレバ本島ニハ大樹ト稱スベキモノナク樹高約二間半ヲ越ユルガ如キモノ之ナキモ樹齡ハ相當ニ大ナルモノ由ナリ、果實ハ大島村地内ニ産スルモノニ比シ大形且美味ナル由ナルモ之等ノ比較ハ再度ノ調査結果ニ徵セントス

#### 三、島ノ所有及生産果實ノ處分



本島ハ大島村住民四名ノ共有ニ屬シ居レドモ一般ノ清遊地同様ノ姿トナリ枇杷果實モ清遊者ガ自由ニ採食スルニ任セ特ニ收穫販賣等ヲナサズ殊ニ地形上採取ノ容易ナラザルガタメニ大部分ハ島ナドノ餌食トナル

四、島ノ植物界

本島ノ植物ハ西北面ト東南面トニヨリ大ニ趣ヲ異ニシ宛然西北區系(さ、區系)ト東南區系(びは區系)トニ界ニ分タル而シテ植栽植物トシテハ小祠附近ニ二本ノ杉アルノミ大ナルモノハ地上二尺ノ部ニテ周回六尺其他鬱叢タル椎ノ大樹二十本餘アリ其最大ナルモノハ周圍一丈一尺四寸(地上二尺)ニ達ス樹冠ハ優ニ他樹ヲスキ恰モ濃緑ナル島冠タルノ觀アリ、更ニ本島植物中奇ナルハ前記杉樹以外ニ一ツノ針葉樹ヲモ産セザルノ一事ナリトス  
今本島植物ノ主ナルモノヲ記サンニ

A、さ、區系(西北部)

- ツルグミ、
- トビラ、
- ユズリハ、
- ツバキ、
- サカキ(?)
- 山櫻、
- フヂ、
- ヒヨドリジョウゴ、
- クマザ、(?)
- イタチシダ、
- ヒトツバ、
- オニヤブソテツ、
- (其他調査中ノモノアリ)

B、びは區系(東南部)

- コゴメウツギ、
- ノイバラ、
- スグリ、
- トビラ、
- (其他落葉樹數種)
- ヒメウズ、
- ツルグミ、
- アサツキ、
- ヒメレンゲ、
- ヒトツバ

以上二區ノ植物ハ早春ノ事故全部ヲ見ルヲ得ザレドモさ、區系ニ於テハ大樹多ク又シヒ、トビラ、

ツバキ、サカキ等ノ常綠樹ヒトツバ、オニヤブソテツ、ムベ、クマザ、其他ノ常綠多年生草本ノミニテ而カモ發育強勢ナルハ著甚ナル事實ニシテ中ニ又ヒヨドリシャウゴノ如キ蔓性植物ヨク發育シ太ク周圍七八寸ト覺シキ長大ナルモノ高ク纏絡セルヲ見ル、之ニ比シビハ區系ニアリテハ前區ト共通姓ノモノモアレドモ コゴメウツギ、スグリ、ノイバラ、其他數種ノ比較的倭小ナル落葉性ノ木本並ビニ ヒメウズ、ハマハタザホ、アサツキ其他ノ一年生又ハ宿根性ノ草本ヨリナリ全然其景觀ヲ異ニセルハ面白キ事實ナリトス

大島村地内自生枇杷ノ狀況

大島村ニテ枇杷ノ自生セルハ大島灣ニ面セル一帶ノ山麓地帯ニシテ而カモ山脈ノ東南側ニ多クシテ海面上約廿米ヲ越エザル下麓ニノミ産ス、地域ハ西方ハ字西村區(ソレヨリ西方海ニ面セル山麓ニモ少シハアリ)ヨリ東字宮止區ニ亘ル間ニシテ大島區ヨリ宮止區ニ至ル間ノモノ尤モ成育佳良ナリ、元來皆自生品ノミナリシガ近年適當ニ栽植肥培等々増加シツツアル傾向アリ、樹木ハ冠者島ノモノニ比シ大ナルモノ多ク大ナルハ目通り約四尺普通二尺位ナリ、樹數ハ凡八千五百本大正十一年度收穫高一萬貫ニ及ベリトイフ

以上ハ大島村自生枇杷第一回調査ノ概要ナルガ枇杷ノ自生品ハ本邦ニ於テハ九州及中國ノ各一部ニ限ラレ近畿北陸以東ニ於テハ未ダ其例ヲ耳ニセズ大島ハ北陸ノ一界ニ位シテ而カモ生育良好ナル自生品ヲ饒産スルハ學術上好參考資料ナリ就中冠者島ハ絶對ニ栽植品ヲ交ヘズ一獨立區界ヲ劃シ同島他ノ植物トノ關係上ニモ學術上一種ノ或意味ヲ含蓄セルモノト認メラレ永久ニ之レガ保存ヲ計ルノ必要アルモノト思考ス

### 一ノ宮神社タブ樹

位置 福井縣遠敷郡國富村次吉區宮ノ上

當該樹ハ同神社境内東南隅ニ斜ニ生ゼル老樹ニシテ社域ハ附近耕地ヨリ約七尺高キ山麓ニ位シタブ樹ハ其高臺地ノ東南隅ニ存セリ目通り凡二丈アリテ地上約八尺ノ所ヨリ二本ニ分レ各略同大ニシテ分岐点ニ於テ周圍各一丈アリ上部ニ於テハ該樹ノ普通ニ見ル如キ廣大ナル樹冠ヲ有セザルモ樹勢旺盛ナリ本樹ノ特種点トシテ此ニ記スル所以ハ樹上ニ着生羊齒ノ多キコトニシテ而カモ該羊齒ハ本委員ノ認ムル所ニテハ和名「オシヤゴジデンダ」ニ相當シ其密生シテ優シキ羽狀葉ヲ垂下セルノ狀ハ他ニ多ク其例ヲ見ザル所ナリ由來此羊齒ハ本邦ニ於テハ多ク東北地方ノ山地地上ニ生ゼルモノト聞ケルニ此ノ樹上ニ美シク着生セルハ學術上興味アルモノト認メラル、因ニ本神社ノ社叢ニハ他ニ老稚十本餘アリテ濃緑ノ森ヲナシヲレリ

### 曾尾神社ノ大藤

位置 福井縣遠敷郡國富村栗田區宮側

本神社ノ社叢ハ老樹多ク森々トシテ晝猶暗キ有様ナルガ樹種ハ主トシテタブ樹ナリ而シテ社叢中著甚ナルハ之等ノ大樹ニ纏繞セル大藤ノ多キコトニシテ殊ニ參道傾斜路ノ左側ニアル大タブ樹ニ纏繞セルモノ大ナリ該タブ樹ハ目通り一丈七尺ニ達シ地上凡四間餘ノ處ニテ三大枝ニ分レタル老樹ナリ而シテ之ニ絡レル藤樹ハ周圍三尺餘ノ大幹ヲ有シタブノ木幹ト並ンデ上昇シヲレドモ樹勢衰へタルノ觀ナクンバアラズ、村人ノ談ニヨレバ昔時樹勢盛ナリシ頃滿開ノ際ニハ他ノ藤ト共ニ頗ル美觀ナリシガ漸次老衰ト共ニ

其觀ヲ失フニ至レリト

### 九本ダモ

一、名稱

九本ダモトハ一根九幹ノタモトイフ意味ヨリナリ俗稱「タモ」ハ植物學上樟科ニ屬スルタブ即イヌグスナリトス

二、位置

本樹ハ遠敷郡雲濱村竹原區郷社小濱神社境内ニアリ因ニ小濱神社ハ舊藩主酒井忠勝公ヲ祠レルモノニシテ明治八年舊藩士ニヨリテ建設セラレシ新ラシキ神社ナレドモ舊城趾本丸二千四百坪ノ地ヲ以テ社地トシ建立セシヲ以テ老樹タメニ多ク美ナル社叢ヲナセリ

三、九本ダモ

本樹ハ社殿ノ左側ニアリ地上四尺五寸ニシテ周圍二丈八尺アリ此所ヨリ順次九大幹ニ分レ圓陣形ニ並ビ生ゼルコト半開ノ洋傘ノ如ク而カモ圓陣樹列ノ内部ニハ優ニ數人ヲ容ル、ニ足ルモノアリ、九大幹ニ分ル、ノ狀ハ皆一樣ナラズシテ四尺五寸餘ノ所ニテ先ツ一幹ト八幹トニナリ更ニ八幹ノ方ハ六ト二ノ二班ニ分レ六本幹ハ地上約八乃至十尺ニテ各個ニ分レ二本ノ班ハ地上一丈一尺ノ所ニテ二幹トナル各幹共其大サニ於テ大ナル差等ナク小ナルモノニテ約七尺大ナルモノニテ一丈餘アリ而シテ各幹共殆ンド同一ノ傾斜角度ヲ以テ四周ニ展開シ全樹高百餘尺、樹冠ハ樹相ノ關係上廣大ニシテ約百坪ニ展開セリ、樹齡ハ約三百年ト稱セラル、モ其稚樹ノ狀詳ナラザルヲ以テ果シテ一幹ガカタ規則正シク分岐セシモノカ又ハ九本植ノモノガ成長ト共ニ癒着シテ然ルモノカ判定ニ苦ムモノナル

ガ真ニ名木ヲフ名ニ反セズ、現在樹勢旺盛ニシテ社務所ヲ初メトシ氏子ニ於テモ之レガ保存保護ニ努メツ、アリ

マキ……………流レ槇(假稱)

本樹ハ社殿ノ右後背側ニアリ樹種ハ普通ノマキナレドモ特異ノ畸形ヲ呈スルヲ以テ著シ樹高約八十尺大サ地上一尺ニテ五尺九寸ナリ  
本樹ノ珍奇ナルハ其枝條ガ殆ンド全部一側ノミヨリ生ジ何レモ一側方ニ向ヒ而カモ異様ニ屈曲シ垂下セ  
ル様水邊ノ草ガ急流ノタメニ下流ニ向ヒ倒レ廉ケルガ如ク一枝トシテ然ラザルモノナク頗ル奇異ノ觀ヲ  
呈ス而シテ海邊ノ樹木ガ海風ノ影響ヲ受ケテ特異ノ狀ヲ呈スルトハ相異リ殊ニ其附近ノ他樹ニ毫モ該影  
響ヲ認メザルヨリスレバ全ク先天的畸形ト樹判定スベキモノナランカ、假稱ながれまきハ小職ノ名ヅケ  
シモノニシテ枝垂トハ又趣ヲ異ニセル如ク認メラル、ニヨル

めをこ松

本樹ハ遠敷郡三宅村字天徳寺區天徳寺觀音ノ道路左側ニアル「アカマツ」ニシテ天然畸形樹トシテ亦稀  
ニ見ル種類ナラン即其枝ノ分レ方順次二分式Y字形ヲナスコト恰モみつまたガ常ニ三分枝ノ特性ヲ現ハ  
スガ如キモノニシテ即チ二分式畸形松トモイフベキモノナリ、地上約五尺ノ所ニテ周圍一丈五尺五寸  
アリ第一分幹ノ大ナルハ分岐点上一尺ノ所ニテ凡一丈一尺小ナル方ハ同ジク八尺アリ、而カモ各分枝ハ  
互ニ左右ニ遠カリ離ル、コトナク平行伸長スルノ性ヲ有スルヲ以テ樹冠ハタメニ大トナラズ通俗めをこ  
松ハ此特性ニ因メルモノナランモ人爲ヲ加ヘタル形跡認メラザレバ眞ニ天然性ノ畸形樹……………珍木……………

トシテ永久ニ保存ノ方法ヲ講ズルノ價值アルモノト認メラル、現在天徳寺區有ニ屬シヨレリ

大 櫟

遠敷郡三宅村字三宅區村社信主神社境内ニアリ一種ノ病的畸形樹ニシテ地上五尺ヨリ一丈迄ノ間ニ大ナ  
ル圓瘤壘々トシテ重リ生ジ奇トイハンヨリハ寧ロ妙味雅趣アリト謂ツベシ目通(瘤ノナキ部)約二丈アリ  
地上一丈餘ノ所ヨリ二大幹ニ分レ樹冠大ナリ瘤數大ナルモノノミニテモ約十五ヶアリ何レモ人頭大以上  
ナリ

三宅村ニテ名木ト稱シラルモノニ猶次ノ二三アリ

イ、毘沙門ノ大杉

本杉ハ同村井ノ口區毘沙門社ノ境内ニアリテ古來神木トシテ大切ニセルモノニシテ地上五尺ニテ周  
圍一丈三尺二寸アリ而シテ約四丈ト覺シキ邊ニテ急ニ數本ニ分レ樹勢旺盛ナラズ社有ニ屬セリ

ロ、熊野大杉

本村井ノ口區村社熊野神社ノ後背社叢中ノ一樹ニシテ地上五尺ニテ周圍一丈八尺六寸枝下約百尺マ  
デハ殆ンド同大ニシテ樹高凡二百尺樹勢旺盛ナリ社有ニ屬ス

ハ、大ナラ

本樹ハ熊野神社前ニアリ地上五尺ニテ一丈七尺二寸約五間ノ所ニテ二大幹ニ分レ樹冠廣大樹勢旺盛  
ナレドモ地ニ接スルノ部ニテハ内部ハ洞窟トナリ其内ニテ焚火シタル形跡アリ若州ニテ稀ナルナラ  
樹ト認メラル(附記樹葉ヲ採取シ得サルヲ以テ「コナラ」「ナルカ」「ミヅナラ」ナルカ或ハ其他ノ  
樹種ナルカ斷定シ難ク只大ナルナラノ意ニテ大ナラト記シオクノミ)

平野ノ二本杉

樹種 杉

位置 福井縣遠敷郡永村平野區宮ノ下村社櫻神社前

狀況 櫻神社ノ社殿入口ノ左右ニ對ヲナシテ栽植セラル、モノニシテ二本杉ノ名稱之ニ由來ス

測定ノ結果次ノ如シ

一、社殿ニ向テ右ニアルモノ

根元周圍 二丈四寸 枝下約八間樹高凡十六間

二、社殿ニ向テ左ニアルモノ

根元周圍 一丈四寸、枝下約六間位

樹勢兩者共現時旺盛ニシテ特ニ右側ノ大樹ハ枝下全長略同大ニシテ頗ル美大ナリ

左側ノモノハ今ヨリ凡二百年前ニ暴風ノタメニ倒サレ枯死セシヲ以テ後繼トシテ補植セシモノナルガ故ニ右側ノモノニ及バザルコト甚遠ク對稱ノ美ヲ損セルハ遺憾ナルモ而カモ樹姿前者ニ類似シ發育可良ナリ

來歴 櫻神社ノ由來ヨリ見ルニ該神社ハ元正天皇靈龜元年ニ創建セラレ同九月ニ祭神ヲ鎮座セシモノナリ所謂二本杉ハ其當時ニ植エラレシモノノ由ニテ之ヨリ算スレバ樹齡優ニ千二百年ヲ越エタリ因ニ其地方ニテハ本樹ヲ名木靈樹トシテ尊崇スルコト頗ル厚ク己ニ大正三年ニハ盛大ナル其千二百年祭ヲ舉行シ今ハ鐵柵ヲ廻ラシ保護ニ努メヲレリ、當ニ松永ノ名木ナルノミナラズ遠敷郡内遠近ニ知ラレタル名木ノ一ナリ

俗語ニ「思ひあふなら平野の森の二本杉ほど思ひあふ」

常神大蘇鐵

樹種 ソラツ(鳳尾松)

位置及生育地ノ狀況

福井縣三方郡西田村字常神區一號五十八番地東定吉氏ノ住宅後庭ニアリ庭ハ居宅及納屋ニテ圍マレ一方急峻ナル山ニ接續シ極メテ狹隘ナルモノナルガ而カモ此處ニ大ナル蘇鐵ノ生育ヲ見ルハ實ニ驚歎ニ値セリ

地質ハ凡テ古生層ノ珪岩之レガ基骨トナリ山並ビニ海岸ノ狀況凡テ皆急峻ナル斷崖ヲナシ殊ニ海ニ接スル所殆ンド砂濱ナク直チニ紺碧ノ深淵タルノ状態ハ實ニ若州珪岩質山容ノ特徴ヲヨク發揮セリ

蘇鐵ノ狀況測定ノ結果次ノ如シ

蘇鐵ハ一株ニテ五大幹ヲ生ゼルモノニシテ今北側ノモノヲIトシテ右廻リニII……Vトシテ根元及樹高ヲ表示センニ

一、根元總周圍 一丈五尺

I. 根元周圍……五尺九寸

高サ……木ニソヒテ……一丈三尺〇五分

II. 根元周圍……五尺八寸

高サ……一丈六尺三寸五分

III. 根元周圍……五尺八寸三分

高サ……木ニソヒテ……一丈二尺五寸

二、各幹ノ大サ

發育狀態

樹勢極メテ旺盛ニシテ樹幹下部ニ於ケル芽生亦盛ナルモノアリ然レドモ分蘖セルモノヲ其儘トシテナシ  
シオク時ハ本幹ノ勢力ヲ減退セシムルノ恐レアルニヨリ之ヲ除去スルヲ常トシ又四年ニ一回位ハ開花  
ヲ見ルモ之亦樹勢ヲ衰ヘシムルヲ慮リ之ヲ避ケシムトイフ

來歴

東家ニテハ百數十年前ニ火災ニ罹リタメニ同家傳來ノ記録等鳥有ニ歸シタルヲ以テ之レガ由緒ヲ探ル  
ベキ由ナキモ古代ニ漂流印度人ガ該種子ヲ携ヘ來リシニ由來スト稱シ居レリ而シテ若狹灣ニハ日本海  
ノ暖流ノ關係ヨリ本邦西南部地方遠クハ南洋方面ノモノマデ漂流來著セシコトアリシハ事實ニシテ曾  
テハもたまノ流着セシコトアリココやし果實ノ漂着セシコト等アリシ由ナリ、而カモ常神ノ地ハ若狹  
灣ノ東方ニ防波堤狀ヲナシテ彎曲突出セル岬崎ノ内灣部ニ位セル港灣ナルガ故ニ或ハ前種同様蘇鐵ノ  
漂流種實ガ打チアゲラレ其發生ヲ見ルニ至リシモノナランカトモ察セラル、因ニ蘇鐵ハ暖地ニ生育ス  
ル植物ニシテ本邦ニテハ九州南部以南ニ其自生ヲ見ルモ臺灣ニハ産セズ殊ニ目下之レガ自生地ノ最北  
限トシテ知ラレラルハ都井岬、志布志、阿久根等ニシテソレ等以東以北ノモノハ皆栽植品ニ屬シ北陸  
地方ノモノノ如キ園養セルモノノ如キハ冬季ニ相當ノ防寒防雪ノ設備ヲ加フルヲ要スルニ常神蘇鐵ガ  
ヨク日本海ノ寒風ニ浴シ降雪ニ遭遇セルニ係ハラズカク迄ニ強盛ナル發育ヲ遂ゲタルハ著甚ナル現象  
ニシテ名木トシ又學術上ノ參考品トシテ實ニ貴重ナルモノト認メラル

III. 根元周圍……三尺六寸  
高サ……木ニソヒテ……六尺

V. 根元周圍……五尺二寸  
高サ……木ニソヒテ……一丈二尺九寸

地籍

福井縣三方郡西田村字常神區一號五十八番地  
所有

同 上 東定吉私有

加斗ノ松原

位置

大飯郡加斗村加斗區海岸ニ沿エル丹後街道六町ノ兩側ニアリ

狀況

松ハ全部黒松ニシテ、道路兩側ニ並木ヲナシ、樹數大小通ジテ二百五十一本、其最大ナルモノ即最東  
端ノモノハ根本周圍一丈五尺四寸根本上五尺ニテ一丈三尺八寸アリ、所謂根上リトナルモノハ只一本  
アルノミニシテ殊ニ海濱ニ沿ヘルモノハ冬季ニ於ケル波浪ノ浸入ヲ防止センガタメニ數尺ノ高サニ土  
堤ヲ築キ上ゲタルヲ以テ多ク根部ヲ没セシメタルモノアリ、海邊ハ全部小砂濱ニテ海水清ク遠ク日本  
海ヲ望見スベク風光頗ル絶佳ニシテ若州名勝ノ一トシテ稱セラル、モ故ナキニアラズ、只遺憾ニ感ズ  
ルハ道路南部ノ松原ハ一般農家ノ稻架ヲ建設スルノ場所トシテ使用セラレ俗惡化セルノ一事ナリ  
來歴手入

舊藩時代ノ行道樹ノ遺物ニシテ各地ニ見ル松並木ト同一性質ノモノニシテ爾來保護補植等ヲ行ハズタ  
メニ年々其美ヲ失墜セルハ遺憾ナリ

所屬

- 一、國道上ノモノハ國有
- 二、原野ノモノハ共有

### 不動之瀧ト其植物

位置 大飯郡加斗村飯盛區山間ニアリ  
 瀧ノ狀況 瀧ハ全部珉岩及角岩ヨリナレル斷崖ニ懸レルモノニシテ該斷崖ハ傾斜九十度即垂直ナリ、高サ五丈ト稱セラル、モ誇大ノ嫌アリ、水量ハ夏期極メテ少量ナレドモ水清ク幽邃ナレバ水浴納涼ノタメニ來リ遊ブモノ少ナカラズ、瀧壺ト稱スルモノナク水ハ崖下ノ岩石ニアタリテ四散スルノミ、此水流レテ飯盛區稻田唯一ノ灌溉用水トナル  
 植物ノ景觀 樹木ハ杉、松、檜、ヒサカキ等ニシテ特種ノモノナキモ懸崖上ノ松及杉ハ全景ヲ幽邃且雅趣アラシム、草本類ニハ ヒトツバ、マメヅタ、シシラン、シシガシラ、十文字シダ等ノ水龍骨科植物コケシノブ、ミヅゴケ、ゼニゴケ等ノ苔蘚植物ニシテ特ニシシラン多ク其長葉ヲ懸垂セルハ注意スベキコトナラン

### 布袋松

位置 大飯郡本郷村父子區縣道ニ近ク田野中ニアリ  
 樹種 アカマツ  
 狀況 佐分利川沖積平原中ニ孤立セリ、大サ根本ニテ九尺八寸目通り六尺、樹高凡十間、枝ノ發育ヨ

ロシク風致木トシテ人目ヲヒクニ足ル、古來ヨリ名木トシテ聞エ、伴信友先生ノ名本帳ニモ之ヲ賞シアリトイフ

地籍 大飯郡本郷村父子區三祖子第十七號二番地  
 所屬 右同 父子區 猿木忠太郎氏私有

### 本郷之大樺

位置 大飯郡本郷村本郷永谷刀禰氏邸裏庭ニアリ  
 樹種 ケヤキ  
 狀況 該樹ハ一本幹ニシテ地上約三尺ノ所マデハ大根四方ニ廣ガリ枝下約四間アリ、根元周圍二十尺目通り一丈七尺、枝ハ四大枝ニ分レテ四方ニ擴張シ樹冠百數十坪樹高七十尺アリ  
 樹勢旺盛ニシテ枝條年ヲ追ウテ蕃茂ス  
 來歴詳ナラザルモ昔時一帶ニ竹藪ナリシガ之ヲ一掃シ該樹ノミヲ殘セシガ以來成長盛トナリ今日ノ壯觀ヲ呈スルニ至リシモノナリトイフ  
 地籍 大飯郡本郷村本郷百四十五號三十番地  
 所屬 同 村 永谷刀禰氏私有

### 父子瀧ト其植物

位置 大飯郡本郷村父子區 本郷驛ヨリ約一里半



名稱 父子區ニアルヲ以テ父子瀧ト稱スルモ不動ノ瀧トシテ知ラル、モノナリ  
 瀑ノ狀況 落下約三丈幅員凡三間アレドモ夏期水量少キ時ハ只懸崖ニ沿ヒテ流下スルニ過ギザレドモ特  
 ニ樋ヲ設ケテ其一部ノ水ヲ落下セシメタリ、地質ハ全部硅岩ヨリナレルコト加斗ノ不動瀧ノ如シ、四  
 周ハ樹木鬱葱ト茂リ飛沫ト共ニ夏時自ラ冷涼ヲ覺エシム、水ハ流レテ父子區水田ノ灌溉用水トナリ遂  
 ニ佐分利川ニ入ル  
 植物ノ景觀 瀑布附近特有ノ植物トシテ認ムベキモノナケレドモ上部ニハシランノ長ク垂下セルアリ  
 岩壁上ニハ、ヂャゴケ、マメツダ等多ク着生セリ、附近ノ植物ニテ眼ニ入ルハ、スギ、ツバキ、ヒサ  
 カキ、カヤ、アラキ、アカメガシハ、フヂ、タマアヂサ井、フユイチゴ等種類ニ富ム  
 保存保護 本郷村ニテハ之ヲ保存センコトニ努ムルハ勿論猶之ヲ世ニ紹介セント努メツツアリ  
 伴信友翁ノ作ニ曰ク  
 「父子山かきたつ岸を直落つる垂水の水に夏もどまらず」ト  
 瀑ノ左側崖上ニ一祠アリ垂水ノ社祠ナリト  
 地籍 本郷村父子區 上瀧下 十九番地

### 松の濱の松

名稱 松の濱の松  
 樹種 黒松  
 所在地 三方郡西田村田井區  
 地目 私有

所有者 西田村田井區慈眼寺大石顯瑞氏ノ所有ナレドモ其他ハ同區赤尾常五郎氏外四名ノ所有ニ屬セ  
 リ

表面ハ右ノ如キ名義トナリ居レルモ實際ハ田井區有ナリ、個人トシテハ誰モ之ヲ意ノ如クナス能ハザ  
 ルモノナリトイフ

地籍 田井區二十號六番地

來歴 口碑傳説ニヨレバ村社多比由神社ノ祭神ハ其昔三方湖上ヲ漂流シ田井區ニ漂着セラレシモ  
 ノニシテ其當時ハ湖水ハ現今ノ狀況トハ大ニ異リ本樹ノ生育セル地点マデ洋々トシテ達セシモノナ  
 リシガ漸次土砂ノ堆積水面ノ變化等ノタメニ現在ノ汀線ヲ見ルニ至リシモノニシテ今日ノ郡道及  
 其兩側水田等ハ極メテ新ラシキ開拓ニ屬セルモノナリトイフ、而シテ該松樹生育ノ地ハ今猶一段高  
 キ臺地狀地貌ヲ具ヘラレルガ古ノ湖ハ之臺地ニ波ヲ寄セ松の濱ト稱セシガ祭神ハ此地ヨリ上陸セラ  
 レシモノナリトイフ、松の濱の松ナル稱呼モ亦全ク之ニ因ルモノナリト、故ニ現今ニテモ多比由  
 神社ノ祭典ノ際ニハ必ズ此樹下ニマデ神輿ヲ運ビ祭神ニ敬意ヲ表スルト共ニ其昔ヲ忍ブヲ例トセ  
 リ  
 狀況 樹木ハ樹高大ナラズト雖モ樹冠正ニ二畝歩餘ニ及ビ根元周圍一丈二尺七寸目通り一丈二寸枝下  
 約九尺アリ、樹勢旺盛ニシテ開濶セル田野中ニ孤立シ風致木トシテモ賞スベシ  
 私有ニ屬スレドモ所有主モ村民モ共ニ之レガ區有同様ニ考ヘテ保護保存ヲ希望シ居レルガ湖水ノ變遷  
 ヲ指示スベキ學術上價値アル標識木タルト同時ニ傳説上亦由緒アル靈木トシテ認メ得ベキモノナルヲ  
 以テ之レガ指定保存ノ要アルモノト認メラル

夫婦杉

名稱 夫婦杉

樹種 杉

所在地 三方郡西田村田井區指定村社多比由神社境内

地目 社有

所有者 多比由神社

狀況 社殿高臺地ニ登ル石段下ノ兩側ニ對ヲナセルモノニシテ兩樹共ニ直立美大ニシテ好對稱ヲナセ

向テ右 根元周圍 一丈一尺八寸 目通り 九尺八寸

左 根元ヨリ二尺上リノ周圍 一丈三尺三寸 一丈一尺五寸

樹高凡十七間

樹勢頗ル旺盛ニシテ枝下高ク遠敷郡松永村平野ノ二本杉ニ次グノ美觀アリ、今日ヨリ十分ノ注意ヲ加ヘ保護シタランニハ將來著甚ナル名木トナルベキヲ信ズ

田井ノ千年松

名稱 田井ノ千年松

所在地 三方郡西田村田井區多比由神社社域前

地目 社有

所有主 指定村社多比由神社

來歴及現狀 樹種ハ黒松ニシテ元ハ神社參道ノ兩側ニ各一本ツツアリシガ今ヨリ(大正)三十三年前ノ舊九月大暴風雨アリ、田井川ノ氾濫ト烈風トノタメニ向テ左側ノ一樹ハ水田ニ倒仆シ現在ハ只其右側一本ヲ殘スノミ樹勢旺盛ナラズ因ニ多比由神社ハモト神佛混合ノ祭神ナリシガ世人之ヲ快トセズ遂ニ之ヲ分離スルニ至リ悉ク其記録ヲ燒却セシヲ以テ來歴其他ヲ探ルニ由ナク從テ其樹齡等モ知リ難キヲ遺憾トス

根元周圍一丈七尺根元上五尺ニテ同一丈六尺二寸、地上九尺ニテ二大幹トナル一幹ハ略直上シ一幹ハ斜ニ水田上ニ伸長シ水田ニ蔭ヲ投ジ支柱ヲ設ケテ之ヲ保護セリ  
村民一般ニ之ヲ神木名樹トシ大切ニスルコト厚ク一樹ノ損失ノ如キ非常ニ殘念ニ思ヒ居ル有様ニテ余ガ實地測定ノ際ノ如キモ通り掛リノ誰人モ之ヲ怪ミ伐採スルニ非ズヤト一種驚怒ノ眼ヲ以テ視同行ノ役場員ニ質セルガ如キ狀態ナリキ

成出の枝垂櫻

名稱 成出ノ枝垂櫻

所在地 三方郡西田村成出區觀音堂前

地目 私有地

地籍 田井村成出八號二十番地

所有者 田井村成出渡邊治太郎、田邊龜太郎二人私有

表面ハ右二人ノ所有ニ屬シ居レドモ土地ハ成出區有ナルヲ以テ櫻樹モ目下區有ノ形タリ

現 狀 樹種ハヒガンザクラノ變種シダレザクラナリ根元ハ周圍八尺六寸、根元上五尺ノ点ニ於テ同ジク六尺七寸アリ、一本幹ナレドモ地上八尺餘ニテ大枝ヲ生ジ三大枝ニ分レ四方ニ擴リ各纖細ナル細枝ヲ垂下セリ、樹冠約二畝歩ニ亘リ樹高凡三十餘尺春時滿開花ノ候ニハ其美頗ル賞スベキモノアレドモ同區古老ノ言ニヨレバ年々衰フルノ狀況ニ陥レリトイフ、衰境ニ向ヒツツアルガ如シ

來 歴 往昔此地ニ杵築神社ト稱スル小社アリテ該樹ハ其社有タリシガ本社ヲ田比由神社ニ合祠シタリシ結果之ヲ下附セシヨリ現在ノ私有トナリシモノナリトイフ、而シテ成出區ハ行方氏三方湖鑿水道ヲ完成セラレシヨリ湖水々々面低下シヤガテ成立セシ部落ナルヲ以テ其歴史モ新ラシキモノナラント傳ヘラル

附記

本樹ニ向テ右側石段ヲ上レバ小祠アリ其右側ニ榎ノ大樹アリ樹幹巨大ニシテ根元周圍一丈五尺枝下約三間ニシテ四大枝ヲ分チ樹冠廣大樹勢旺盛ニシテ鬱葱タルノ狀注目ニ値スルモノアリ、櫻ノ名木ト併セテ巨樹トシテ兩々保有ノ價値アリ

一本松

名稱 一本松  
樹種 黒松  
所在地 遠敷郡瓜生村有田區有田川右岸  
地目 官有地  
來 歴 其由來詳ナラザルモ後陽成天皇慶長九年ニ寛永開祖ノ植エラレタルモノト言ヒ傳ヘラル

現 狀 大サ地上約二尺三寸ノ所ニテ二丈二尺八寸地上九尺六寸ノ部ニテ略同大ノ二大幹トナリ一ハ其分岐部圍周一丈三尺五寸他ハ同ジク一丈四尺アリ、樹冠二畝歩以上ニ擴ルト雖モ枯損セルモノ甚多ク樹勢頗ル衰ヘタリ、樹ノ巨大ナルト樹形ノ美ナルトハ稀ニ見ル所ナルモ老年期ニ達シ年々其勢ヲ失フカノ感アリ之全ク其根元東半部ガ河水ノタメニ洗ハレ浸サル、ニヨルモノナルベク今日直チニ土堤ヲ築キ河水ト相斷ツニ至ラシメズンバ全樹ヲ失フニ至ルベシ

有田ノ一本松ト稱セバ此附近ニ知ラザルモノナキ程ニ舊時ハ美大ナリシ名木ナリトセラレタルモノナレバ今日其衰境ニ入りツツアル現狀ヲ保護スルノ術ヲ講ズルハ急務ナリ

樹齡ハ來歴ヨリ打算シテ三百二十餘年ニ達スルモノト認メラル

大 櫻

名稱 二本櫻  
樹種 けやき  
所在地 遠敷郡國富村高塚區  
地目 公有地  
所有主 高塚區有  
地籍 遠敷郡國富村高塚二十二號字上町三十四番地  
來 歴 自生發育セシモノナルラシク相當大樹トナリテヨリ區民ノ死活ニ關スル重要ナル地位ニアルヲ認ムルニ及ビ著名トナルニ至ル

現 狀 一樹巨大ニシテ目通り一丈二尺五寸高サ凡十五間アリ地上一丈ニテ二大枝ニ分レ樹勢旺盛

ナリ  
 他樹ハ大サ地上四尺ノ部ニテ八尺八寸根元上六尺餘ノ所ニテ二大幹トナリ第一ノモノト相對シテ自然ノ大綠門ヲ形成セリ  
 高塚區水田ハ北川河底ヨリ低ク縣道ヲ兼ネタル堤防ハ實ニ同區住居水田ノ命ノ緒トモ稱スベキモノチルガ恰モ該樹ノ生育地ハ北川ガ山ニ衝突シ曲リテ水路ヲ轉ズルノ險所ニ該當シ高塚死活ノ鍵トモ稱スベキ地位ニアリ殊ニ區水田ノ灌溉水ハ此点ヨリ引キ入ルル外ニ利便ヲ有セザルヲ以テ兩者相待チテ同區死活問題ヲ決定スベキ唯一ノ門口トナルナリ  
 櫻樹ハ洪水ノ際ニ於ケル堤防ノ防備トシテ又用水路樋口ノ堅鍵トシテ非常ニ重大ナル使命ヲ有ス故ニ區民ノ該樹ニ對スル愛護ノ念頗ル大ナルモノアリ、之レガ毀損等ハ甚嚴重ニ取締ラル以テ本樹ハ巨樹名木ト推賞センヨリハ寧ロ地方農村ノ利害ニ重大關係ヲ有スル有用樹トシテ指定保護ヲ計ルノ價値アルモノト考ヘラル

### 宇久ノ社叢

名稱 宇久ノ社叢  
 所在地 遠敷郡内外海村宇久區  
 地籍 遠敷郡内外海村宇久區五號四番地  
 所屬 村社久須谷神社々有

大小、數量、現狀 小漁村ニシテ久須夜岳ノ東方海岸ニ位シ小海灣ヲ隔テテ西小川ノ小邑ト相對シ北方三方郡常神崎ヲ望ムベク陸路ヲ經テ小濱其他ニ通ズルニハ只一本ノ山道アルノミ頗ル不便ノ地ニアリ神社ハ區ノ北方隅山麓ニアリテ其東域ハ直ニ海ニ面シ走向北四十度西傾斜凡四十度ヲ示セル古生層ノ硅岩砂岩ヨリナレル懸崖トナリ高サ凡百尺アリ  
 樹種及其狀況 社叢ヲナセル樹木ハ老樹巨樹多クカ、ル僻遠ノ地トシテ頗ル意外ノ感ヲ深ウス樹種ハシヒ、トビラ、イヌグス、ヤブニツケイ、モチ、アカマツ、ケヤキ、ツバキ、ムクノキ等ニシテ就中シヒ、イヌグス、ニハ老大樹多ク又、トビラ、モチ、ヤブニツケイ等モ他地方ニ稀ナル大樹トナリアカマツノ海岸ニ奇異ナル發育ヲナシテ海ニ臨メル等初メテ此風光ニ接スルモノヲシテ驚カシムルモノアリ、殊ニ海岸性樹種ト山地性樹種ト混生セルハ面白キ景觀ナリトス

### 自生柿

名稱 自生柿  
 所在地 遠敷郡内外海村加尾ヨリ宇久ニ至ル山地  
 地目 私有地  
 内外海村加尾區ヨリ宇久ニ至ル山地ハ皆天然混生林ニシテ所々ニ アブラギリ(地方名コロビ)ヲ植林セシ所アルモ其他ハ雜木ニシテ林地ニハ雜草多ク殆ンド人工ヲ加フルコトナキニ似タリ、柿樹ハ此雜木林ニ混生セルモノニシテ宇久山道附近隨所ニ之ヲ認メラル、自然ニ折レテ嫩芽ノ雜木狀ニ生育セルモノアリ相當大木トナルモノモアリ、内外海村當局ノ談ニヨレバ之等ハ皆自生品ニテ果實モ小サク澁氣モ強ク之ヲ願ルモノナキモ加尾區耕地ニ近キモノハ山地ヲ開拓セル際之ヲ殘シ砧木トシテ接木シ

テ利用セルモノモアレドモ他ハ一般雜木扱ヒヲナシタルモノナリ云々  
柿ハ本邦特有ノ果樹ニシテ栽培品ノ品種ハ多クアルモ其自生原種ノ形態ハ小職之ヲ詳ニセズ、本種ガ  
少クモ之ニ近キ自生品ナルモノトセバ學術上價值アルモノト考ヘラルレドモ比較考察ノ便ヲ缺クヲ以  
テ單ナル報導ニ止ム

### 大 櫨

名稱 オホハゼ

所在地 大飯郡青郷村小和田區寺ノ本

地目地籍 同郡青郷村小和田區寺本六十七號三十四番地私有地  
所有者ノ氏名 同郡青郷村小和田區盛次八藏

形狀數量大小現狀 根元ヨリ約二尺五寸ニ於ケル大サ周圍一丈一尺、枝ノ分岐点(地上約五尺ノ部)ニテ

同一丈二尺アリ、此部ニ於テ恰好ニモ東、西、南、北ノ四大幹ニ分レ四方ニ伸ビ擴ガレリ而シテ此四

分幹点中央ニハ優ニ一大人ヲ立タシムルヲ得ベク數年生ト覺シキエのきノ所得顔ニ自生セルモノアリ

第一幹(南幹)ハ周圍 四尺二寸五分(分幹基部)

第二幹(西幹)ハ同 六尺

其基部ヨリ三尺餘ノ所ニテ更ニ二大亞幹トナル

第三幹(北幹)ハ周圍 四尺七寸

第四幹(東幹)ハ同 六尺三寸

其基部ヨリ四尺程ノ所ニテ二大亞幹ニ分ル

樹高四丈位、寧ロ分幹ノ狀勢上樹高ヨリモ樹冠擴大ニシテ三十餘歩ノ地積ニ亘ル、現在樹勢旺ナラズ  
上大枝ノ枯損セルモノ多ク衰頽ノ期ニ入り居レリ本幹ニハふゆづた、なつづた、つたうるし等ノ蔓性  
攀緣植物着生シ益々之ヲ害シツツアリ

從來ノ狀態、來歴、若狹舊藩主酒井忠勝意ヲ民力養成ニ用ヒラレ儉約令ヲ布シ農耕ヲ勵マシ又山地植林  
ヲ勸メラレシ中ニモ特ニ櫨ノ栽植ヲモ大ニ勸メラレシハ著甚ノ事ニシテ初メ本樹ノ有利ナルヲ認メラ  
ル、ヤ特ニ薩摩ヨリ其稚苗ヲ取り寄セテ頒チシニ風土ニ適セルモノカ生育宜敷年々多大ノ利ヲ擧ゲシ  
由ナリ、其後他ノ農業上ノ術漸ク進ムニツレテ之レガ栽植ノ衰運ヲ招致シタルモ本樹ハ其當時ノモノ  
、餘命ヲ保チ殘レルモノナリト傳ヘラル之ヨリ推算スレバ樹齡正ニ二百九十年ヲ越ユルモノナリ、而  
シテ奇ナルハ當地方ニテハ櫨ヲ「さつま」ト稱シ通用シ居レルガ苗ノさつまヨリ來レルニ因メルモノ  
ナリ、往時樹勢旺盛ナリシ時ニハ一樹ヨリ三百貫ノ種實ヲ產シタリシガ現今ニテハ僅ニ三十餘貫ノ收  
穫アルニ過ギズ

若州地方ニハ各地ニ櫨ヲ見ルモ皆後年ノ實生ノ生育セルモノニシテ之等モ年々其數ヲ減ジ早晚皆伐採  
セルルベキ運命ニアルモノト觀測セラル、然ルニ本樹ハ其藩政時代最初ノ記録トモイフベク殘存生育  
セルモノナルヲ以テ地方歴史上產業變遷史上好記念物トシテ十分之ヲ保護スベキ價值アルモノトイフ  
ベキナリ

### 青郷ノ松並木

名稱 青ノ並木

所在地 大飯郡青郷村青區國道兩沿線

地目 官有地

地籍 國有道路丹後街道

形狀大小數量現狀等、全部黒松ニシテ何レモ目通り八、九尺ヨリ大ハ一丈一尺ニ達シ該國道約二丁ノ間ニ並列セリ若狹ニ於ケル丹後街道沿線並木中尤モヨク整ヘルモノナリ  
從來ノ狀 藩政時代ノ遺物トシテ各地ニ認メラル、並木ト同様ノモノニシテ而カモ他ノ地方ニテ或ハ伐採セラレ或ハ暴風落雷等天災ノタメニ枯損セルモノ多キ中ニ小區域タリト雖モヨク舊狀ヲ保テリ  
將來此種ノモノ漸次減少絶滅シツ、アル状態ニアルヲ以テ此ノ如キハ大切ニ保護ヲ加ヘ保存スベキ價値アルモノト認メラル

### 三ツ松ノ松並木

名稱 三ツ松ノ松並木

所在地 大飯郡青郷村三ツ松ヨリ青區ニ至ル丹後街道沿線ニ列生セルモノニシテ三ツ松川ノ左岸ニ沿ヘル所ニアリ

地目 官有地

地籍所有者 國道丹後街道

形狀大小數量現狀等 延長東南ヨリ稍北西ニ約數町ニ亘リ東側凡ソ二十五本西側凡ソ二十七本アリ樹勢旺盛ニシテ大サ目通り四尺餘六尺位ノモノ尤モ多ク若州地方ニテ三ツ松ノ並木トイヘバ普ク知ラレラルモノナリ、樹中枝ノ重タラシク垂下セルモノナドアリ風致上、行旅上、又ハ歴史上ノ記念物等トシテ保存法ヲ講ズルノ無益ナラザルベキモノト信ズ

### 櫻

名稱 田村藥師ノ櫻

所在地 遠敷郡中名田村上田字堂脇長田寺藥師境域

地目 官有地

所有者其他 官有地所生ノモノナレドモ藥師ノ所屬ノ如クナリ居レリ  
形狀大小現狀等 本樹ハ山櫻ノ培養變種ニ屬スル單重白色大輪咲ノモノニテ一花軸ニ多數ノ花ヲ簇生シ一見八重ノ如ク總ノ如ク「虎ノ尾ノ名花」ト稱セラレ有名ナリ、根元ハ地上約二尺ノ地位ニアリテ周圍八尺五寸五分、地上六尺餘ニテ二大幹ニ分岐セリ分枝点ノ太サ九尺五分アリ、二大幹ハ平等規則正シク分枝擴張シ樹冠一畝歩餘ニ及ビ樹高四丈餘ト目算セラル樹膚ニハ地衣灰緑白色ニ着生シ古雅ノ趣アリ、樹勢旺盛ニシテ今猶一大名樹トシテ遠近ニ知ラル

從來ノ狀 來歴由來詳ナラズ藥師寺ノ縁起ニヨレバ延曆年中田村麻呂ノ祈願内供奉延鎮ノ開基ニシテ覺慶律師鎮帥ヨリ此寺ヲ附セラルト、中古以來明樂寺別當トシテ正徳ノ頃マデ遠近ノ人々ニ田村ノ藥師トシテ尊崇セラレ來リシガ火災ニ逢ヒ享保十六年興禪寺末ニ列シタルモノナリトイフ、寺ノ來歴此ノ如ク田村藥師ノ櫻ナル稱呼ノ由來モ之ニテ知ラルベキモ何時代ノ栽植ナルカ他ニ記録ノ徵スベキモノナク其樹勢ヨリ觀テモ左程古キ齡ヲ有セルモノトハ考ヘラレザレドモ地方名木ノ一トシテ舉クベキモノナラン

### 若狹の三本柳

名稱 若狹ノ三本柳

所在地 遠敷郡中名田村深谷區

地目 共有地

地籍 中名田村深谷區田茂谷十一號字柳本十六番地

所有者 中名田村深谷區廣本傳藏外廿六名

所有者外管理者 所有者ハ上記ノ名義トナレドモ深谷區有トシテ管理セラル

形狀大小數量現狀等 樹種ハ枝垂柳ニシテ二本アリ、水田ニ接續セル荒野(數坪)ニアリテ大樹ハ地上約

八尺ニテ大小二幹ニ分レ水田ニ向ヘル枝ハ上枝枯損セリ、本幹(枝下)ハ凹凸不規則ニシテ多瘤狀ヲ呈

ス、目通り大略一丈四尺餘樹高約四丈アレドモ老衰期ニ入り居レリ

小樹ハ樹勢旺盛ニシテ綠ノ糸ヲ垂下シ美ナリ、地上二尺ニテ二大幹ニ分レ周圍七尺餘(分岐点下)アリ

第一幹(大)ハ基部ニテ四尺餘第二幹(小)ハ同ジク三尺餘アリ、本樹ト前記大樹トハ地方ニテハ根本

下ニテ合一シ一本ナリト認メラルガ如キモ別樹ナルベシ、併シ往時ハ此外ニ猶二大樹アリテ共ニ三本

柳ト稱セラレシガ他ノ二本ハ伐採シ一本ノミヲ殘シタルモノナリトイヘバ或ハ此小樹ハ大樹ノ地下部

ヨリ不定芽ヲ出シ發育セシモノナランカ即チ大樹ハ老衰境ニ入レルニ反シ小樹ハ現ニ壯年期ニアル

ガ如キ觀アレバナリ併シ此眞偽ハ今直チニ斷定シ難シ何レニシテモ兩者共柳樹トシテノ稀品タラズン

バアラズ

從來ノ狀 自生カ栽植カ不明ナレドモ此地ニ清冷ナル清水ノ湧出地アリ之レガタメニ或ハ挿木ヲナシタ

ルモノナランカ

昔時ハ美大ナルモノ三本アリテ所謂名田庄ノ名物京山道ノ名勝ノ一ナリシ由ナルガ明治二十五年熊川

方面ヨリ京阪地方ヘノ道路開ケシヨリ此方面ヨリノ交通殆ンド絶エ後村落ノ漸ク衰微スルト共ニ其二

本ヲ伐採シタルモノナリトイフ、俗諺ニ「我ハ若狭の三本柳、二本伐られておれ一人」トアリ以テ以

前三本アリシコトハ認メラル、ナリ、現時「三本柳」ノ稱呼ハ此舊時ノモノヲ踏襲セルモノナリ  
地方名木トシテ又柳樹中ノ稀品巨樹老木トシテ保存ノ價値アルモノトイフベキナリ

權現大杉

名稱 權現大杉  
 所在地 今立郡岡本村大瀧區大瀧神社境内  
 地籍 今立郡岡本村大瀧第十四號大峯一番  
 地目 大瀧神社境内  
 現狀 樹勢旺盛ナリ、神木ト稱シ大己貴命ヲ齊キ奉ル、春秋二季ノ祭典ニハ注連ヲ張リ村民モ參拜スルモノ多シ  
 由來傳説 大瀧神社ハ人皇第三十三代推古天皇ノ御宇大伴連ノ勸請セシ古社ナリト云フ  
 養老三年沙門泰澄國內巡錫ノ砌當山ノ靈地ナルヲ相シ山上、山麓ニ七堂伽藍ヲ建立シ大瀧兒權現ヲ齋キ奉リ大瀧寺ヲ創建シ社僧社人四十八坊ヲ設ケ別ニ山籠ノ山伏六人ヲ置キテ神事ヲ掌ラシメタリ言々ノ記事大瀧神社千二百年祭記念帳ニ見ユ  
 大瀧神社縁記ニ曰ク(前略)寅卯ニ大山アリ唐土經山寺ニ似タリトテ攀登リ給ヘバ數百年ヲ經タル大杉ノ梢ヨリ紫雲立チシトナリ(中略)當山靈地ナリケレバ權現影向有座セヨト、三密印觀ヲ凝シ、五相身心ヲ調シ祈念加持シ給ヒケレバ白玉飛ビ來ル(後略)  
 泰澄大師入國ノ年養老參年ハ今日ヨリ千二百〇五年前ナレバ當時數百年ヲ經タル老杉ガ今日ノ權現大杉ナルヨリ推定スルトキハ少ナクトモ千數百年ヲ經タル老木ナルヲ知ルニ足ル

現在ニ於ケル管理保存法 神木ト稱シ保護ニ勉ム  
 形狀大小 周圍目通り二丈三尺五寸 高サ十二間  
 要保存地積 約一畝歩  
 前記權現大杉ハ前述ノ事項ニヨリ之レヲ保護スルハ學術上有益ナルノミナラズ天然紀念物トシテ保護スルニ足ルモノニシテ岡本村大瀧區民ヲシテ管理セシムルヲ可ナリト認ム

逆杉又ハ大杉様

名稱 逆杉又ハ大杉様  
 所在地 今立郡岡本村杉尾區  
 地目 岡本村杉尾區有林  
 現狀 樹勢旺盛ニシテ盛ンニ繁茂ス  
 由來傳説 往昔岡本村大瀧區ノ權現大杉ノ一枝大風ノタメ折レタルモノ此地ニ飛ビ來リ逆ニ地ニ立チ之レニ根ヲ生シ枝梢繁茂シ遂ニ今日ノ大杉トナレリ老杉ノ枝葉ノ垂指ス尾先ニ村落ヲ營ミ杉尾村ト云フニ至レリト云フ  
 現在ニ於ケル管理保存ノ方法 神木ト稱シ區民保護ニ勉ム  
 形狀大小 周圍十八尺三寸 高サ十二間  
 地上約一丈ノ所ヨリ五本ノ大枝ニ分ル、枝ノ中ニ下向セルモノアリ地上一尺位ノ所ニ達ス  
 要保存地積 約一畝歩



右杉樹ハ年數ヲ知ルニ足ル口碑 記録等ヲ有セザレドモ現狀及大サヨリシテ千年ニ近キ老杉ナルベク區  
民ノ神木ト稱シ保護ニ勉ムル点ヨリ見ルトキハ保存法第五條第一項ニヨリ岡本村杉尾區ヲ指定シテ管  
理ヲ爲サシムルヲ適當ト認ム

### 公孫樹

名稱 公孫樹

所在地 今立郡北中山村三ツ峯區

地籍 今立郡北中山村三ツ峯字坊屋敷二十一番地

地目 宅地

現狀 地上ヨリ一間餘リノ高サニ至ル間、靱皮部ハ四圍ヨリ殆ンド削リ去ラレ、木質部モ大イニ削ラ  
レシタメニ木質部ハ全周圍ニ露出シ木質ノ露出シタル所ハ殆ンド枯死シ根本ヨリ一間位ノ高サマデノ  
處ヲ見レバ枯木ノ如シト雖モ靱皮部ハ樹幹ノ四所ニ埋レ居リテ生活機能ヲ營ミ地上ヨリ九尺ノ處ニ七  
本ノ大枝ヲ生ジ、何レモ勢力旺盛ニシテ盛ンニ繁茂シ幹部ノ枯色ヲ疑ハシム  
幹部ハ削リ取ラレテ圓形ナラズ一老人ノ語ル所ニ依レバ往時ハ圓形ニシテ一部分ニ空洞アリ中ニテ旅  
人焚火ヲナシタリト、然レドモ大風ニテ一枝ノ折ル、ト共ニ空洞無クナリ今日ノ如ク樹幹ノ一半殘リ  
テ扁平ニ近キ不正形トナリシナリト稱ス、現今モ地上八尺ノ處ニ小空洞アリ、尙樹幹ノ削ラレシ上部  
ノ靱皮部ヨリ氣根様ノ細枝叢生セルヲ見タリ  
由來傳説 往時泰澄大師ノ生母哺乳ニ際シ乳出デズシテ苦シミシガ三ツ峯ノ地ニ到リ三ツ峯神社ニ參籠

シ該公孫樹ノ樹皮ヲ煎用シタルニ乳出デタリト稱ス、爾來一般民衆ハ哺乳ニ當リテ乳乏シキ時ハ該公  
孫樹ノ樹皮ヲ煎用スル風習起リ今日モ尙之ヲ續ケ居ルナリト稱ス  
樹皮ハ其ノ後手ノ届ク範圍ハ悉ク剝ギ盡シタルヲ以テ今日ハ尙樹幹ヲモ削リトリテ煎用セリ  
所有者住所氏名 今立郡北中山村三ツ峯區

所有現在ニ於ケル管理保存ノ方法 現在モ尙樹皮樹幹ヲ削リテ煎用スル習慣アリテ三ツ峯區ニテハ希望  
者ニ分與シツ、アリ、サレバ管理保護ノ方法ハ別ニ講ゼズ  
形狀大小 前述ノ如ク樹幹ハ地上約八尺ノ高所ヨリ以下皮部及木質部ノ表層ハ削リ去ラレ圓形ヲ失ヒ扁  
平ニ近キ有様ナレバ正鶴ヲ得難シト雖  
周圍目通り十九尺七寸 高サ十六間五尺  
地上ヨリ九尺ノ所ヨリ七本ノ太キ枝ヲ生ジ盛ンニ繁茂シ居レリ

本公孫樹ハ現狀大キサ傳説ヨリシテ少ナクモ千數百年ヲ經タル老木ナルヲ推定シ得ベシ  
要保存地籍 約二十歩  
保存上特ニ施設ノ急ヲ要スル事由 右公孫樹ハ前記ノ狀態ニテ至急保護セザレバ益々削ラレ遂ニハ枯死  
シ、或ハ大風等ニテ倒ル、ニ至ルナラン、サレバ應急ノ施設トシテ樹幹ノ周圍ニ柵ヲ廻ラシ尙支柱數  
本ヲ建テ、大風ニ備フルヲ適當ト認ム  
保存法第五條第一項ニヨリ指定ヲ必要トスル事由及ビ團隊名 本公孫樹ハ三ツ峯ノ所有ニ屬シ、來同區  
ニテ管理シ來リシ關係上同區民ヲ指定シテ管理セシムルヲ適當ト認ム

薄 墨 櫻

名稱 薄墨櫻或ハ花筐ノ櫻ト稱ス

所在地 今立郡粟田部村皇谷

地籍 粟田部村九十七番皇谷一番

地目 山林

現狀 樹勢旺盛郷民ハ花筐ノ櫻又ハ薄墨櫻ト稱シ毎年三月三日ニハ注連ヲ張り神官出張祭典ヲナス郷民モ亦老幼男女ノ參拜スルモノ多シ花季ニ至レバ一重小辨ノ薄墨色ノ花ヲ付ケ與ユカシク美シキ事限ナシ

由來傳説 男太迹皇子潛龍ノ舊跡ニ關シ深キ由緒ヲトドムル一株ニシテ皇子ガ御日常愛サレタル櫻ヲ郷民ニ篋トシテ與ヘタルモノナリト稱ス

皇子ガ櫻ヲ愛デ給ヒシコトハ拾芥抄、禁秘抄、江淡抄ノ如キニヨリテ知リ得

瓜生三寅著日本國盡ノ一節ニ

「サテ名所ニハ夕月夜露ノ宿レル味間野ヤ粟田部コソハ繼體ノ帝ノ未ダ御位ニ即カセ給ハヌ其ノ以前宮居ノアリシ所ナレ」

トアリ今日ノ粟田部味真野一帶ノ地ハ往昔ハ味間野ト稱シタルナリト

男太迹皇子ノ御住所ニ因ミ今日ノ粟田部地方ハ太迹部ト稱シタリシニ歲月ヲ經ルニ從ヒ粟田部ト變ジタルナリ

歴史ニ調スルニ男太迹皇子ガ味真野ノ里ニ宮居ヲ定メラレシハ明カナル事實ニシテ又皇子ガ櫻花ヲ愛サセ給ヒシコトモ知ルニ足ル、皇子味真野ノ里ヲ去リ給フニ及ビ郷民ニ篋ノ一株ヲ殘サセ給ヒシヤ否

ヤハ確證ヲ得ルニ由ナケレドモ口碑ニヨリ傳フル所ニヨレバ本薄墨櫻ハ花筐ノ一株ナリト稱ス  
所有者氏名 今立郡粟田部村富田治郎右衛門  
現在ニ於ケル管理保存ノ方法 花筐ノ櫻ト稱シ専ラ保護ニ勉ム  
形狀大小周圍 目通り九尺五寸 高サ七間五尺  
枝ノ繁茂狀態ハ盛ンニシテ樹勢旺盛ナリ  
備考 粟田部村某氏ノ編セシ「はながたみ」ト稱スル小冊子ハ薄墨櫻ノ來歴ヲ知ルニ足ル

八幡神社大杉

名稱 八幡神社大杉

所在地 今立郡河和田村片山八幡神社前

地籍 河和田村片山第十五字八幡山第一番

地目 山林

現狀 幹部ニハ根ニ近ク空洞アリ空洞ノ内部ハ廣ケレ共入口ハ狹ク僅カニ犬ノ出入シ得ル位ナリ

由來傳説 人皇八十九代後深草天皇ノ御宇、道家郷閑院ノ宮ノ命ヲ受ケ越前ノ國ニ御安居遊バサレシ頃

神地ニ杉樹ヲ御手植アリシガ其杉生長シテ今日ノ神木トナリシナリト云フ、郷人ハ御札杉、御靈木、

又ハ神木ト唱ヘ居レリ今日ヨリ六百七十餘年前ニ植エタルモノナリト云フ

所有者氏名 八幡神社所有

現在ニ於ケル管理保存ノ方法 神木ト稱シ村民保存ニ勉ムレドモ特別ニ保護法ヲ講ゼズ

形狀大小 周圍根本ヨリ二尺上リタル所二丈七尺五寸 高サ九丈

公孫樹

名稱 公孫樹

所在地 今立郡河和田村小坂區明正寺前庭

地籍 河和田村小坂第十四號七番地

地目 宅地(境内)

現狀 樹勢旺盛ナリ枝葉繁茂ス雌株ニシテ年々多量ノ結實アリ尙果實ハ他ノ公孫樹ヨリ特ニ大ナリ  
由來傳説 本公孫樹ハ當寺前住職某ノ幼時ニ本村内ノ大門嘉兵衛氏今日ヨリ約百十數年前ニ植エタルモ  
ノナリト云フ嘉兵衛氏ハ三本ノ公孫樹苗ヲ求メ一本ハ敷山神社境内ニ一本ハ明正寺前庭ニ一本ハ自宅  
々地内ニ植エタルナリト云フ其ノ内嘉兵衛方ノ公孫樹ニ枯死シ敷山神社内ノモノハ今日繁茂シ居レ共  
獨リ明正寺前庭ハ地味肥沃ナリシタメ今日ノ如ク大木トナレリ

所有者氏名 明正寺

現在ニ於ケル管理保存ノ方法 別ニ保護法ヲ講ゼザルモ專ラ保存ニ勉ム

形狀大小 周圍目通り十一尺 枝下十八尺六寸 高サ八十尺

小坂ノ大杉

名稱 杉、小坂ノ大杉

所在地 今立郡河和田村小坂區敷山神社

地籍 河和田村小坂四十五字天神山十五號一番地

地目 社有林

現地 現今杉樹八本アリ何レモ伸直ニシテ枝下長クヨク繁茂セリ

由來傳説 享保元年社殿ヲ山上ヨリ現今ノ所ニ下シ其ノ時杉ヲ植エタルナリト稱スサレバ今日ヨリ二百  
餘年ヲ經タル古木ナリ

所有者氏名 河和田村敷山神社所有

現在ニ於ル管理保存ノ方法 特ニ保護法ヲ講ゼザルモ神木トシテ保存シタキ由ニテ將來天然紀念物ニ指  
定セラレタキ旨希望シ居レリ

形狀大小 現今八本アリ便宜上番號ヲ附シテ左ニ記サン

周圍目通り 第一、七尺九寸 第二、九尺 第三、八尺 第四、五尺 第五、十尺五寸

第六、八尺八寸 第七、八尺 第八、八尺八寸

高サ 何レモ略同一ナリ其ノ内標準トシテ計リタルモノハ、百二十尺

櫟

名稱 櫟

所在地 今立郡河和田村片山區林治平方

地籍 河和田村片山第五號十五番地

地目 宅地

現狀 樹勢旺盛ナリ

由來傳説 林家ノ祖先ガ植付ケタルモノナリト云フモ年代等ハ不明ナリ

所名者氏名 林治平氏

現時ニ於テ管理保存ノ方法 林家ニテハ一家ノ家寶トシテ専ラ保存ニ勉ム

形状大小 現在五本アリ便宜上番號ヲ附シテ其ノ大小ヲ表ハサン

周圍目通り 第一、八尺四寸 第二、八尺二寸 第三、八尺三寸 第四、九尺五寸  
第五、八尺五寸

高さ 各略同一ナルガ故ニ一、二ヲ則定セシニ留メタレドモ十八間乃至十八間三尺ノ間ニアリ

### 觀音堂 樺

名稱 樺、觀音堂樺ト稱ス

所在地 今立郡河和田村蒔生田觀音堂前庭

地籍 河和田村蒔生田十九字安達四十七番

地目 雜種地

現狀 四圍ニ水田アリ其ノ日光ヲ遮リ水稻ノ發育ヲ害スルヲ以テ大枝ハ殆ンド切り去ラレ小枝ヲ留ム

ルニ過ギズ故ニ發育ハ甚ダ惡シク枝ノ切口ニ瘤多シ從ツテ樹勢萎靡シ僅カニ活力ヲ有スルニ過ギズ

由來傳説 村民ヲ尋ヌルニ由來傳説明ナラズ

所有者氏名 蒔生田區有

現時ニ於ケル管理保存ノ方法 前述ノ如ク目下保護ヲ加ヘズ寧ロ水田ノ日陰トナル故枝打ヲ加フルコト

頻繁ニシテ樹勢ノ萎靡ヲ來セリ

形状大小周圍 目通り十四尺 高さ三十五尺 根本ニ近ク空洞アリ 枝ノ切口瘤多ニシ

福井縣史蹟名勝天然紀念物調査委員 金粕 今治 郎

### 辨天岩

名稱 辨天岩

所在地 敦賀郡松原村二村區

所有者 區有

形状大小現狀 海岸近ク海中ニ二岩石露出ス、略南北ニ並ブ、南方ノモノ大ニシテ雄島ト云フ、高さ三

丈餘略圓錐形ヲナス、頂上ニ高さ三尺餘幅三尺横二尺ノ石堂アリ、辨才天ヲ祀ル、北方ノモノ小ニシ

テ高さ二丈計アリ

大小二岩共ニ花崗岩ヨリ成リ兩岩ニ注連ヲ張り宛然ニ見ケ浦ノ如シ

### 鷺ヶ崎

名稱 鷺ヶ崎

所在地 敦賀郡松原村手區

地目 山林

所有者 區有

形状大小現狀 常宮神社ヲ離ル北方一里餘ニアリ、花崗岩ノ大岩十數個疊積シタル上ニ鷺ノ形ニ似タル

一大岩アリ、岩石ノ所々ニ長石石英ノ大ナル結晶群アリ、鷲ヶ崎神社ノ跡ナリト云フ  
三八

### 新田ノ拔穴

名稱 新田ノ拔穴

所在地 敦賀郡敦賀町月見岬ノ下手

地目 山林

形狀大小現狀 岩窟深サ三十間高サ一丈計ノ石灰洞、上ヨリ階段狀ノ鐘乳石ヲ垂ル  
傳説 金ヶ崎落城ノ際新田ノ臣船田經由等ノ隠レタル穴ナリト

### 産石

名稱 産石

所在地 敦賀郡敦賀町八幡神社

所有者 社有

形狀大小現狀 重量百貫餘略球形、社殿右側後方ノ隅ニアリ、安産祈願ノ靈石ナリト傳フ

### 絹掛ノ松

名稱 絹掛ノ松

所在地 敦賀郡官幣中社金ヶ崎岬

地目 山林

所有者 敦賀郡喜田村謙吉

形狀大小 周圍根元五尺 目通五尺 高サ三丈

現狀 石灰岩上ノ雜木中ニ松ハ只一本頂上及其下枝共ニ枯レ下方ノ枝ハ海上ニ長ク垂ル

由來 金ヶ崎落城ノ際恒良親王ノ着給ヘル御衣ヲ掛ケラレシト云フ其松ハ已ニ枯死シ代木トナシタル

モノモ枯レ現今ノ松ハ明治ニ至リ代木トナシタルモノナリト傳フ

### 杉

名稱 杉

所在地 敦賀郡東郷村葉原區

地目 山林

所有者 日吉神社

形狀大小 周圍根元一丈五尺 目通一丈三尺 全長八丈五尺

現狀 樹勢旺盛

由來 應永年間山ノ神ヲ祀リ祠森トシテ植エタルモノナリト言フ

### あすなろ

名稱 あすなろ

所在地 敦賀郡東郷村葉原區  
 地目 山林  
 所有者 日吉神社  
 形狀大小 周圍地上二尺ノ所一丈八尺 日通一丈四尺 地上三丈五尺ノ所ニテニ又ス 全長八丈五尺  
 現狀 樹勢旺盛  
 「文龜年間社ヲコ、ニ移シタルトキ植エタリト」

榉

名稱 榉  
 所在地 敦賀郡東郷村葉原區  
 地目 雜種地  
 所有者 葉原區有  
 形狀大小 周圍根元二丈七尺根元ヨリニ又ス、大ナル方基二丈一尺 小ナル方基一丈一尺  
 大ナル方地上六尺ノ所ニテニ又ス、兩方共ニ周圍一丈一尺 全長七丈  
 現狀 樹勢旺盛  
 由來 往古コ、ニ飯場ヲ設ケ日覆ノタメ植エタリト  
 樹側ニ大常宮(昔ハ大繩宮)アリ中ニ虚空藏菩薩ヲ祀ル、石像ニシテ彫刻粗ナレドモ頗ル古キモノニシ  
 テ一千餘年前ノモノナラン

椎

名稱 椎  
 所在地 敦賀郡敦賀町官幣大社氣比神宮境内  
 形狀大小 高サ約四丈 周圍根元二丈七尺 日通二丈二尺  
 現狀 主幹枯レテ枝數本ヲ出ス  
 主幹ノ頂ヨリ高サ丈餘ノ榦ヲ生ゼリ(着生)主幹大イニ衰ヘ保存ノタメ手ヲ加フルモ効ヲ奏セザルモハ  
 カリガタシ  
 附記 角鹿神社ハ崇神天皇ノ時祀ラレタルモノナリト、コノ社ノ境内ニ前述椎ノ外ニ椎二本(根元周  
 圍一丈五尺)境外ニモ十數本アリ

菅公ノ梅

名稱 菅公ノ梅  
 所在地 敦賀町官幣大社氣比神宮境内  
 形狀大小 周圍根元三尺 高サ一丈五尺 根元ヨリ多數ノ枝ヲ生ズ  
 現狀 樹勢旺盛  
 由來傳説 宇多天皇ノ時菅原道真公勅使トシテ來敦セラレシトキ栽植セラレ現在ノモノハ其裔ナリト云  
 フ

椿

名稱 椿

所在地 敦賀町誓蓮院

形狀大小 根元周圍六尺 目通五尺 高サ二丈 地上七尺ノ高ニテニ又ス 花八重 花色赤白絞リ  
現狀 二又セル一方折レ樹勢稍衰フ、樹齡四百年計

紅梅

名稱 紅梅

所在地 敦賀町誓蓮院

形狀大小 根元周圍七尺 目通五尺 高サ一丈八尺  
現狀 樹勢旺盛、地上六尺ノ處ニテニ又ス、花八重

紫雲松

名稱 紫雲松

所在地 敦賀郡松原村來迎寺

形狀大小 根元周圍二丈一尺 目通二丈三尺  
現狀 大正十年六月十四日老木ノタメ無風ナルニ大音響ト共ニ臥レ今ハ株ヲ有スルノミ、由緒アル老

樹ナリシニ惜ムベシ

楓樹

名稱 楓樹

所在地 敦賀町八幡神社境内

形狀大小 根元周圍九尺 地上三尺ノ處ニテ四又トナル 高サ二丈 枝四方ニ廣ガリ長方形ヲ作ル其長  
サ四丈 幅二丈五尺

現狀 樹勢旺盛、枝密接シテ接合スル處數個所アリ、樹齡三百年以上  
由來傳説 大谷吉繼ノ植栽セシモノナリト側ニ石標アリ

明治維新之際

仁和寺宮 西郷高倉

北陸巡檢使ノ勅詠歌

優紅葉 神かきの久しき世々の  
譽紅葉 みてくらと尙仰くべき茂みちなりけり

樅

名稱 樅

所在地 敦賀町八幡神社境内  
形状大小 根元周圍九尺 目通八尺 高四丈  
現狀 樹勢旺盛  
由來 正保二年酒井忠勝入封ノ際栽植セリト

公孫樹

名稱 公孫樹  
所在地 敦賀郡粟野村金山區金山彦神社  
形状大小 根元周圍二丈五尺 目通二丈五尺 地上二丈ノ所周圍三丈此邊ヨリ氣根ヲ出シテ垂ル、高サ十丈餘  
現狀 樹勢旺盛、樹齡千年以上  
由來 金山彦神社創立ノ際栽植セシモノナラン、然シテ同社ハ天長三丙午年ノ創立ナリ  
附記 天然記念物トシテ保存ノ價値アリト認ム

四ツだも

名稱 だも(通稱四ツだも)  
所在地 敦賀郡粟野村金山區金山彦神社  
形状大小 根元周圍三丈三尺 目通三丈一尺

此所ヨリ四又シタレバ四ツだもト稱ス、内二本ハ已ニ折レタリ  
現狀 一本ハ周圍十四尺 一本ハ同十三尺

お宮ノ杉

名稱 お宮ノ杉  
所在地 敦賀郡粟野村御名區日吉神社  
形状大小 周圍二丈二尺 高八丈 地上二丈ノ處ニテ二又ス、其一方又二丈ノ處ニテ二又ス  
現狀 石垣ヲ作ルタメ根元數尺埋メラレタリ、樹勢旺盛、樹齡八百年許

新三ノ松

名稱 新三ノ松  
所在地 敦賀郡粟野村御名區寶國寺  
形状大小 周圍一丈五尺 高五丈  
現狀 樹齡八百年以上高カラザルモ容姿頗ル秀テ翠綠數十歩ヲ蔽フ元黒河川ノ流域ナリシト

椎

名稱 椎



所在地 敦賀郡東郷村高野區白山神社  
形狀大小 根元周圍一丈八尺 目通一丈八尺  
現狀 樹勢旺盛

松

名稱 松

所在地 敦賀郡東郷村井川區皇太神社  
形狀大小 根元周圍二丈五尺 目通一丈六尺 枝下二丈五尺殆ど同ジ太サニアリ  
其レヨリ三又ス 高サ十丈  
現狀 樹勢旺盛、樹齡八百年以上、容姿秀麗  
附記 天然記念木トナス價値アリト認ム

臥龍松

名稱 臥龍松

所在地 敦賀郡東郷村大椋神社  
形狀大小 根元周圍六尺五寸 目通ニ節アリ  
周圍七尺 其上周圍六尺 屈曲シテ龍ノ昇ルガ如シ 枝ト四丈 其上三丈枝少ナシ

椎林

名稱 椎林

所在地 敦賀郡東郷村大椋神社  
現狀 大ナルモノハ根元周圍二丈三尺 高サ六丈

檉

名稱 檉

所在地 敦賀郡東郷村舞崎區地藏堂  
形狀大小 根元周圍二丈一尺 目通一丈五尺 地上六尺ノ所ニテ二又ス 高サ五丈

松

名稱 松

所在地 敦賀郡敦賀町永嚴寺  
形狀大小 根元周圍一丈五尺 目通一丈四尺 高サ十丈  
現狀 樹勢旺盛、樹齡七八百年、根元ヲ石垣ニテ環セリ

金山ノ松並木

名稱 金山ノ松並木  
所在地 敦賀郡粟野村筋生野橋ヨリ金山聯隊ニ至ル  
現狀 就中最大ナルモノハ根元周圍三丈 目通二丈 高サ十丈 其他二十數本アリ

櫟

名稱 櫟(著シキ老樹)  
所在地 南條郡王子保村白崎區  
形狀大小 高サ一丈三尺 周圍根元二丈八尺 幹ノ基部洞穴トナル  
所有者 郷社斗布神社  
現狀 現今西方ニ向ヒテ一大枚ヲ生ズ杖杭ヲ以テ之ヲ支フ  
今ヨリ二十年前現在ノ枝ニ相對シテ東方ニ大枝アリシモノ風モ雨モ雪モナキ時大音ヲ發シテ折レタルヲ以テ郷人大ニ訝リみくじヲ引キタルニけがれナリトノコトナリシヲ以テ柵ヲ設ケテ小供等ノ入ルヲ禁ジタリト樹側ニ石造ノ小祠アリ

城戸口櫻

名稱 城戸口櫻

所在地 南條郡南柚山村阿久和區  
形狀大小 高一丈六尺 枝下八尺 周圍根元六尺七寸 花ハ白色單瓣  
所有者 川崎武平  
現狀 樹齡百年内外、老樹珍木ト云フ程ノモノニアラザルモ破壊セラレツ、アル城跡ノ目標トシテハ重要ノモノナリ

夜叉ケ竹

名稱 夜叉ケ竹  
所在地 南條郡堺村廣野區  
所有者 高島清平外三十八名  
反別 三反五畝  
地目 山林  
形狀大小 高一丈内外 周圍一寸乃至二寸 豫想數壹萬本  
現狀 該竹ハ日野川ノ上流夜叉ケ池ニ至ル途中川ノ左岸ヨリ山地ニカケテ傾斜面ニ叢生セルモノニシテ元廣野區ノ所有ナリシガ後前記ノ所有者トナル新竹ニハ斑紋ヲ生ゼズ二年目ヨリ斑紋ヲ生ジ初メ年ヲ追フテ斑紋ヲ加フ  
斑紋ハ不規則ナル雲形ニシテ竹ノ表ヨリモ裏ニ多シ  
斑紋ノ一部ニ朱點ノ入レルモノアリ里人之ヲ貴ブ  
斑紋ヲ生ズルハ籜ガ腐蝕スル際一様ニ腐ラズシテ早ク腐リタル部ガ風化(雪、しみニ犯サレタルカ)

セシモノナランカ

廣野區ノ人試ニ他ニ移植セシモノアリシガ年ヲ追フテ斑紋ヲ生ゼス遂ニ斑紋ヲ見ルコト能ハザルニ至  
リシト、從來夜叉ヶ池探險者ノ濫伐セルモノアリシヲ以テ現今ハ之ヲ之ヲ嚴禁シ希望者ハ區長ニ申出  
デ一本五錢ヅ、ニテ分與ヲ乞フコト、ナレリ

福井縣史蹟名勝天然記念物調査委員

白 崎 弘

### 大 櫨

名稱 大櫨  
所在地 三國町平木  
所有者 三國町金鳳寺  
形狀大小 周圍地上一尺ノ處三丈餘、目通り二丈三尺、高サ七丈  
來 歷 不詳、樹齡七百年  
現 狀 樹勢頗ル盛ニシテ境内ヲ蔽フ  
附 記 此ノ樹ハ豫備調査ニ漏レタレモ櫨ノ大木トシテハ縣下ニ及ブモノナカルベク是非保存シタキモ  
ノナリ

### 鞍 掛 之 松

名稱 鞍掛之松  
所在地 三國町堅區  
所有者 藤井佐久助  
形狀大小 周圍目通り八尺五寸、高サ五丈五尺  
來 歷 九郎判官義經ガ山伏トナリテ東國へ下向ノ際此ノ松ニ名ヲ殘セリト傳フ、樹齡三百年

現狀 樹勢旺盛

附記 正確ニ測リタルニ豫備調査ヨリハ周圍ニ於テ小、高サニ於テ大ナリ、樹齡ハ三百年以下ト推定サル故ニ七百年以前ノ九郎判官ノ名ヲ殘セル松其ノモノニアラザルコトハ察スルニ難カラズ當時ノ松ノ枯死セルヲ以テ其ノ後ニ植ヘタル松ノ今日ニ殘レルナラン、然シ歴史的ニ保存シタキ松ナリ

松

名稱 松

所在地 三國町喜寶區

所有者 三國町專了寺

形狀大小 周圍目通り八尺六寸、高サ五丈

來歴 不詳、樹齡三百年

現狀 樹勢旺盛

新地之松

名稱 新地之松

所在地 三國町喜寶區

所有者 官有

形狀大小 周圍目通り九尺、高サ三丈

來歴 樹齡二百年餘  
現狀 樹勢旺盛、停車場前街道ノ風致ヲ添フ

椎

名稱 椎

所在地 加戸村覺善區

所有者 白山神社

形狀大小 周圍目通一丈九尺、高サ二丈五尺

來歴 由緒明カナラズ、樹齡四百年

現狀 樹勢盛ニシテ幹ノ周圍ヨリ小ナル枝叢生ス

附記 此ノ樹ハ山服ニ繁茂シ一方ハ土砂崩壞シテ絶壁ヲナス故ニ適切ナル保護ヲ講ズルニアラザレバ倒壞ヲ免レズ

櫟

名稱 櫟

所在地 加戸村嵩區

所有者 松樹院

形狀大小 周圍目通り一丈六尺、高サ五丈

來歴 不詳、樹齡四百年  
現狀 樹勢旺盛ナリ

大杉

名稱 大杉  
所在地 木部村東荒井區  
所有者 春日神社  
形狀大小 周圍目通り一丈一尺五寸、高サ五丈五尺  
來歴 不詳、樹齡三百年  
現狀 樹勢尙盛ナリ  
附記 斯ル大サノ杉ハ山地ニハ敢テ珍シカラザレドモ里ニハ稀ナル大杉ト云ハザルヲ得ズ

女形谷櫻

名稱 女形谷櫻  
所在地 長畝村女形谷區  
所有者 白山神社  
形狀大小 周圍地上一尺ノ處二丈六尺、目通り一丈七尺五寸、地上十尺ノ處一丈四尺六寸、高サ四丈五尺

來歴 元地藏尊ノ境内ニ在リシモノ、今ニ殘リテ周圍ハ畑地トナレリ由緒明カナラズ、樹齡五百年  
現狀 樹勢尙盛ニシテ開花ノ節ハ樹上ニ恰モ白雪ノ降レルガ如キ一偉觀ヲ呈ス、内部ハ腐朽シ空洞トナルレヲ窺ハル

附記 此ノ樹ノアル地ハ地藏尊ヲ祭レル土地ニシテ面積千餘坪アリテ杉雜木等繁茂セシモ近年開拓シテ畑トナシ樹下面積百十坪ヲ殘シテ之ヲ白山神社ノ所有トナシ他ハ區民ニ分割賣拂ヒタリ、櫻ノ古木トシテハ稀ニ見ルトコロニシテ恐ラク縣下第一ノ物タルベク國內ニモ少カルベシ、國家的ノモノトシテ左モナクバ地方的ノモノトシテ是非保存シタシ

大杉

名稱 大杉  
所在地 兵庫村下兵庫春日神社境内  
所有者 春日神社  
形狀大小 周圍目通り一丈四尺、高サ五丈五尺  
來歴 不詳  
現狀 樹勢頗ル旺ナリ、樹齡四百年

大杉

名稱 大杉

所在地 加戸村平山區  
所有者 退代寺  
形狀大小 周圍目通り一丈四尺、高サ八丈五尺  
來歴 不詳  
現狀 勢旺ニシテ天ヲ摩ス、樹齡五百年

大 銀 杏

名稱 大銀杏  
所在地 三國町上西區  
所有者 性海寺  
形狀大小 周圍地上一尺ノ處一丈二尺、目通り一丈十尺ノ處九尺五寸、高サ七丈  
來歴 不詳  
現狀 樹勢頗ル旺盛ニシテ毎年多ク種子ヲ收穫ス、樹齡三百年

辨 天 巖

名稱 辨天巖  
所在地 雄島村梶區  
所有者 共有

形狀大小 間口二間、奥行九間、高サ二間餘ニシテ奥ニ至リテ低シ、  
來歴 元祿六年丸岡藩士武藤某岩窟内ニ辨財天ヲ觀請セリト  
現狀 天成ノ玄武岩  
附記 此ノ邊一帶ノ海中ニハ大小數多ノ奇巖怪石起伏シ實ニ名勝ノ地タリ

辨 慶 ノ 拔 穴

名稱 辨慶ノ拔穴(一名山んば)  
所在地 雄島村梶區  
所有者 共有  
形狀大小 間口三間、奥行十八間、高サ二間、面積十二三坪  
來歴 義經東國下向ノ際辨慶此ノ穴ヨリ逃ゲ去レリト傳フ  
現狀 天成ノ岩窟

福 良 ノ 瀧

名稱 福良ノ瀧(一名安島ノ瀧)  
所在地 雄島村安島區  
所有者 共有  
形狀大小 瀧幅一尺、高サ一丈三尺、上下二段トナリテ落ツ

來歴 不詳  
現狀 秋冬ノ季節ニハ水量多クレバ夏季ニ至レバ水減ジテ幅四五寸トナル

五八

### 汐見堤ノ櫻

名稱 汐見堤ノ櫻  
所在地 三國町汐見區  
所有者 官有  
形狀大小 櫻ノ並木周圍三尺内外、高サ二三丈、二百七十餘本  
來歴 河川改修ノ際堤上兩側ニ植エタルモノ、樹齡二十年  
現狀 瀾漫ト咲キ亂レタル様ハ恰モ花ノ隧道ノ如ク九頭龍ノ清流ト對應シテ觀客ヲ醉ハシム

### 東尋坊

名稱 東尋坊  
所在地 雄島村安島區  
所有者 共有  
形狀大小 輝石安山岩ノ岩壁高サ七丈、口ノ廣サ八間、奥行二十二間、大小數ヶ所、高低參差神工鬼削ノ奇觀ヲ呈ス  
來歴 昔平泉寺數千坊中ニ東尋坊ト稱ヌル大強力ノ惡僧アリ一山悉ク之ヲ疎ズ或時衆徒ト共ニ海邊見

物ノ際途ニ突落サレテ死セリト  
現狀 一帶ノ岩壁海ニ臨ミ柱狀節理海水ノ蝕蝕ヲ受クルコト甚シ

五九

櫟

名稱 櫟

所在地 大野郡上庄村大字友兼

地目地籍 大野郡上庄村大字友兼小字五號中村二番地ノ内六坪程

由來傳説 二百三十年前專福寺ココニ來リシ以前ヨリコノ櫟存在セリト云フ外傳説ナシ、餘程ノ老樹ナラン處々洞穴アリ

現在ニ於テ管理保存ノ方法等ヲ講ゼズ

太サ 周圍三丈一尺

手續方法面倒ニアラザレバ、保存方命令處分差支ナシノトコトナリ

專福寺所有

十二抱杉

名稱 十二抱杉

所在地 大野郡石徹白村ヨリ二里程北方ノ山腹

由來傳説 養老年間泰澄大師御手植ト稱ス

現在管理保存ノ方法講ジアラズ

周圍四丈三尺五寸

大ナル名ヲ聞キ傳ヘテ見物ニ行クモノ多シ

石徹白村村有

- 一、現狀甚シキ古木、樹幹ノ一部(山道ヨリ見テ向ツテ右方ノ稍後ノ處)蟲ノ喰ヒタル跡アリテ腐リタリ、枝ノ上部ニ葉ノ無キ處朽チタル處モアリ葉ハ叢ヲナシテ處々ニ生ズ、コレヲ里人ニ聞クニ七八十年前ヨリコノ如キ有様ニテ變化少シト云エバココ數十年ハ枯死スルガ如キコトナカラニ
- 二、甚シキ古木大樹ナルヲ以テ天然紀念物植物ニ關スル保存スベシト認ムベキ條項第一項巨樹老樹ニ當ル
- 三、枝等ノ腐リタル部分ヲ取除キ手當ヲナセバ樹ノ生命ハ長ク保ツヲ得ン

大杉

名稱 大杉

所在地 大野郡石徹白村中居社内ニ三本アリ(社務所前、社務所右、社務所後)

由來傳説 養老年間ニ泰澄大師ノ御手植ト稱ス

現狀 樹勢旺盛、

現在管理保存ノ方法ヲ講ゼザルヲ以テ樹皮ヲ脱ギ取ル者アリ

大小形狀 社務所ノ前ノモノ周圍二丈四尺二寸下ヨリ二間ノ處ニテ三又ニ分レ三本枝トナル



社務所側ノモノ周圍二丈四尺、樹皮厚クシテコレヲ以テ「ステツキ」ヲ造ルコトヲ得  
社務所後ノモノ周圍二丈六尺、樹皮厚ク「ステツキ」ヲ造ルコトヲ得、見ルモ立派ナル樹ナリ  
白山中居神社所有  
村内ニテハ十二抱杉ヨリモコレヲ天然紀念物タランコトヲ希望シ居レリ

禿杉

名稱 禿杉  
所在地 大野郡石徹白村ヨリ二里十八町北方ノ山頂近キ處ニアリ  
由來傳説 泰澄大師ノ御手植ト稱ス  
現狀 幹曲リテ枝共ニ地ニ垂レリ高サ三尺、枝ノ垂レタル處四坪程  
管理保存ノ方法講ジアラズ  
幹ハ周圍二尺餘  
石徹白村村有

叉葉朴

名稱 叉葉朴(石徹白村ニテハ又朴葉ト稱ス)  
所在地 大野郡石徹白村字根後山  
保存ヲ要スル地域根後山山腹二間四方

元コノ山腹ニ又三郎ナルモノ住居シコノ邊ヲ又三郎畑ト云フ故ニコノ朴ヲ又朴葉ト云フトモ云ト或ハ  
葉ノ先叉形ヲナスヲ以テ又朴葉ト云フトノ説モアリ  
現狀 コノ朴ノ葉半數以上ハ叉葉ヲナス  
現在管理保存ノ方法ヲ講ズルコトナシ  
又葉朴ハ一本ノミ、樹幹周圍七尺四寸幹ノ高サ五尺九寸ノ處ヨリ八本ノ枝アリ幹ニ比シテ枝ノ細キハ  
昔一度切斷シタルガ如シ樹ノ全部ノ高サ五丈五尺位ナリ  
天然紀念物植物ニ關スル保存スベシト認ムベキ條項第七項野生ノ樹木ニシテ著シキ畸態ヲ現ハセルモ  
ノニ當ル  
大野郡石徹白村 石徹白藤之助所有  
所有者ニ於テハ天然紀念物トスルコトニ異議ナシ

男女杉

名稱 男女杉  
所在地 大野郡木本區  
一名弘法杉、又ノ名ヲ「さかさ杉」ト稱ス、大ナル方周圍一丈九尺、小ナル方周圍一丈八尺六寸  
現狀 二本共ニ中央部ヨリ下方ノ枝ハ皆さかさニ垂レ根元ニ近キ枝ハ地ニ附キテ根ノ如ク見ユ  
側ニ弘法大師ヲ安置セル小堂アリ正月ニ餅撒ヲナスト云ヘバ男女杉ハ永久ニ安全ナラン

辨天松

名稱 辨天松

所在地 大野郡佐開區

鬼谷砂防工紀念碑ノ側ニアル枝振ヨキ普通ノ松周圍約四尺位

的場杉

名稱 的場杉

所在地 大野郡西光寺

大小形狀 周圍二丈六尺、高サ普通、枝張直徑七十六尺、幹ノ高サ一丈余ノ處ヨリ大枝五本ニ分レ内四本ハ殆ンド平行ツテ頂上ニ延ブ  
平行セル大枝二本ノ間ニ周圍一尺五寸長サ二尺五寸余ノ小枝梯子ノ子ノ如ク大枝ノ間ヲ連絡シ葉ナク何レノ大枝ヨリ出デタルカヲ明ニセズ

櫟

名稱 櫟

所在地 坂井郡鳴鹿村上金屋區

既ニ切ラレテ根元ノミヲ殘スノミ

櫟

名稱 櫟

所在地 大野郡上庄村友兼

大小形狀 周圍三丈一尺處々ニ洞穴アリ、縣内一、二、ノ大櫟ナラン、同村專福寺内ニ在リ專福寺所有

福井縣史蹟名勝天然記念物調査委員 武田信雄

枝垂ざくら

名稱 枝垂ざくら

種類 薔薇科 しだれざくら

所在地 足羽郡社村小山谷瑞源寺内

形状面積 周圍目通七尺、高サ二丈余

所有者 同寺

來歴傳説 延寶三年探源御手植ノ櫻トイフ樹形及幹ヨリシテ或ハ眞實カモ知ラズ相當ニ古キモノト思ハ

ル 現在ノ狀況 樹勢頗ル衰フ寺院ニ命ジ青苔ヲ除キ枯死ヲ防グ法然ラント思ハル

現在ノ狀況 樹勢頗ル衰フ寺院ニ命ジ青苔ヲ除キ枯死ヲ防グ法然ラント思ハル

あかまつ くらまつ

名稱 あかまつ (單數ニアラズ 數本)

くらまつ

種類 松拍科

あかまつ

種類 同

くらまつ

所在地 足羽郡社村小山谷瑞源寺

形状面積 形状通常松ト何等異ラズ

あかまつ 一、周圍 八尺 高サ十丈位カ

くらまつ 二、周圍 一丈二尺 門前ニアリ

所有者 同寺有

來歴傳説 正徳二年松平藩主並木トシテ植エシメタルモノ

現在ノ狀況 何等特別ナル方法ヲ用ヒズ別段方法ヲ講ズル價值モナカルベシ

銀杏

名稱 銀杏

種類 公孫樹科 いてふ

所在地 足羽郡東安居村菅谷

大小形状 目通六尺七寸、地上十四尺ノ所ニテ二又ス

所有者 菅谷區有

現在ノ狀況 少シ雖レテ望ムトキハ目ニ附カザル位ニテ天然記念物トシテ價值ハナシ

八房梅

名稱 八房梅

種類 薔薇科 うめ  
 所在地 足羽郡麻生村中荒井區  
 大小形狀 周圍目通り二尺五寸  
 所有者 中荒井區所有  
 來歴及傳説 承久二年親鸞上人ノ御手植ト稱スレドモ樹ノ太サト樹皮ヨリ見ルモ百年足ラズノモノナラ  
 ンカ  
 現在ノ狀況 周圍ニ石柵ヲ周ラシ中ニ名札塔ヲ立タルモ地方人モアマリニ注意セザル模様ナリ樹木トシ  
 テハ何等ノ價値ナシ唯其由緒ニ到リテハ史的ニ少シク調査スルノ必要アラシカ

荒谷ノ大杉

名稱 荒谷ノ大杉  
 種類 松杉科 すぎ  
 所在地 吉田郡志比谷村荒谷ヨリ下志比村嶽ニ越ユル峠(309m)ノ頂上ニアリ  
 大小形狀 周圍目通り二十八尺  
 所有者 志比谷村荒谷渡部平右衛門  
 來歴傳説 泰澄大師ノ目當杉ナリトイフ  
 其古杉ナル点ヨリシテモ或ハ然ラントモ思ハル、葉ヨリ見テモ相當古キモノナルベシ  
 現在ノ狀況 何等ノ方法ヲ施サズ中部雷火ニモカカリシカト思ハル程焦焼セリト雖モ樹勢旺盛ナリ

轟ノ大杉

名稱 轟ノ大杉  
 種類 松杉科 すぎ  
 所在地 吉田郡下志比村轟  
 大小形狀 周圍一丈二尺、高サ十間余  
 來歴傳説 神木トシテ傳説アル如クレドモ地方人ハ更ニ知ラズ  
 所有者 轟區有  
 現在ノ狀況 何等ノ施設ナシ必要ヲ認メズ

谷口ノ菩提樹

名稱 谷口ノ菩提樹  
 種類 田麻科 ぼたじゆ  
 所在地 吉田郡下志比村谷口  
 大小形狀 周圍目通り最モ大ナルモノ十四尺、高サ三丈アリ  
 所有者 同區有  
 來歴傳説 蓮如上人ノ植エタルモノトイフ、又泰澄大師ノ植エタリトモイフ  
 現狀 何等ノ施設ナシ、ぼたじゆノカ、ル大形ノモノハ稀ナリ、大々的ニハ價値ナシト雖モ相當地  
 方ニ保護スルコト必要ナリト認ム

布曝岩

名稱 布曝岩  
由來傳説 上淨法寺ヨリ數里土民ニ聞クニ何等ノ珍ラシキコトナシ唯往時金山タラシメントシテ掘鑿セ  
ルコトアリシカト  
山姫ノ布晒セシ等ノコトモ眞僞アヤシ

玲瓏岩

名稱 玲瓏岩  
種類 安山岩  
所在地 吉田郡永平寺ノ山奥十五町  
所有者 永平寺  
形状面積 長經四間、短經三間  
來歴傳説 禪師且テ座禪セラレシト上部平ニシテ或ハ座禪位ハ出來得ル岩石ナリ  
現 狀 川端ニ二個アルガ右岸ノモノナラン、二、三間ヲヘダテテ「玲瓏岩」ト書ケル石ノ小塔アルノ  
ミナリ、特ニ保存ノ要ナキガ如シ

野良山椒

名稱 野良山椒  
種類 芸香科 いぬざんせう  
所在地 足羽郡酒生村荒木神保區  
大小形状 周圍目通り十尺三寸、高サ四丈、南面ウツロトナレリ  
所有者 同區有  
來歴傳説 靈木トシテ傳ヘラル旨記サルルモ實地土民ニ正スニサルコト疑ハシ  
現 狀 何等ノ施設ナキモ場所提坊ノ内側ニシテ拔截スルコトナクバ現狀ヲ保ツモノト思ハル、いぬざ  
んせうニシテモカ、ル大木ハ珍ラシ、相當保護ノ要アリト認ム

朝谷ノ御花松

名稱 朝谷ノ御花松  
種類 松杉科 としやう  
所在地 足羽郡上宇坂村朝谷西部小和清境ニアリ、上新橋ノ左岸ヨリ登ル岩石上ニ三本アリ四本アレド  
モ一本ハ枯死ニ近シ  
所有者 同區有  
大小形状 周圍目通り最大ノモノ三尺、最小ノモノ二尺四寸  
來歴傳説 川共蓮如上人ノ岩壁ニ畫カレタル地藏尊ノ前ニ御花トシテ植エタリトイフ、其石ニ掘リタル  
像ハ右岸ニアリ然ルニ此木ハ左岸ニ相對シテアリ、其ノ理由ニ就キテハ苦シム處アルモ周圍委クあか  
まつ、すぎ等アル中ニ一点としやうヲ存スルハ必ズヤ他ヨリ持チテ植エタルモノト信ズ、然モ岩上ニ

サル處故アリト言フベシ  
現 狀 現在ハ周圍敷トナリ之ニ近ヅクコトモ出來ザル状態ニアルガ由緒アルモノトセバ周圍ヲ切り開  
キ名札ヲ附シ上新橋登リ口邊ニモ捧材ヲ立ツル等ノ必要起ラン

### 篠尾ノ風穴

名稱 篠尾ノ風穴  
種類 岩質ハ安山岩ノ如シ  
所在地 足羽郡酒生村篠ノ尾ノ山奥  
所有者 篠ノ尾區横山英男  
大小形狀 幅最廣キ處六尺、高サ八尺六寸、奥行二間バカリナルモ内部ニ至ルニ從ヒ狹シ  
現 狀 穴内ノ狹キ爲何等ノ施設ナキモ石ヲ掘リテ何物カニアツコトモ出來得ベシ名札ヲ附シ世人ニ知  
ラスルコトモヨカラシ

### 隕石

名稱 隕石  
種類 隕石(隕鐵ナランカトモ思ハル)  
所在地 福井市黒龍神社境内  
大小形狀 楕圓形 長經一尺七寸、短經一尺四寸、厚サ五寸五分

### 所有者 黒龍神社

來歴ト傳説 現在ノ舟橋ハ往時黒龍村ト稱シキ現在鐵橋ノアルアタリナリ、然ルニ元徳元年六月神社ノ  
裏手ノ河中ニ光ルモノ見ユ拾得セルニ現在ノ隕石ナリキ、神社ハ後履享年間ニ現在ノ地ニ引ク  
明治十五年松平氏ヨリ東京ニ送リシニ琥珀石トイヘリトカ玻璃石ナルモノハ玄武岩科ニ屬スルモノナ  
ラザレバ隕石ナラン  
明治十五年ノ事ニツキ松平家ニ問糺スノ必要アリ  
現 狀 社前ノ北側下ニアリ、其眞偽ヲ確メ學術上或ハ天文學上ヨリモ是非之ヲ世人ニ廣ク汎メ相當保  
護ヲ加ヘ或ハ其ノ由來ヲ名札トシテ現シ保護ノ設備ヲナスノ價值充分アルモノト認ム

### 御手植ノ松

名稱 御手植ノ松  
種類 松杉科 くろまつ  
所在地 足羽山 (福井市)  
形狀面積 圓錐狀  
所有者 福井市  
來歴傳説 明治四十二年皇太子殿下ノ御手植  
現 狀 周圍ニ石柵ヲメグラシ標札ヲ立テ保護ヲ加ヘタリ、樹勢頗ル旺盛ナリ

九十九磧ノ櫻

名稱 九十九磧ノ櫻  
 種類 薔薇科 さくら  
 所在地 福井市九十九磧笏谷ヨリ鐵橋迄  
 所有者 福井市  
 形狀面積 足羽川ノ左岸約二十町  
 來歴傳説 明治三十九年植付ク市有志寄附經營ナリ  
 現狀 適當保護ヲ加ヘツツアリ惜ムラクハ葉櫻ナリ、ホダ樹齡古カラズ

附 錄

史蹟名勝天然紀念物調査職員

委員	委員長	內務部長	南波 奎三郎
副委員	副委員長	理事官	松岡 四郎
委員	技師	技師	一番ヶ瀬 鎮造
委員	技師	技師	野村 貫一
委員	技師	技師	田代 清友
委員	技師	技師	橘高 義雄
委員	技師	技師	木村 尙達
委員	技師	技師	大矢 重次郎
委員	技師	技師	安藤 伊作
委員	技師	技師	武田 信雄
委員	技師	技師	金粕 今治郎
委員	技師	技師	吉竹 弘治
委員	技師	技師	白崎 勉一
委員	技師	技師	內田 藏
委員	技師	技師	本莊 杉藏

## 史蹟名勝天然紀念物調査委員會（第一回）

二

大正十三年四月二十二日午後一時ヨリ於縣會議事堂内委員會室

一、出席者 南波會長、東根副會長

内田、吉竹、安藤、金粕、木村、一番ヶ瀬、白崎、武田ノ各委員、本莊書記

一、會長挨拶

一、委員ノ擔任區域内ニ於ケル調査狀況報告

各委員共己ニ着手セル植物方面ノ調査ニ付テハ各二三點ヲ余スノミナルヲ以テ右完了ヲ取急キ追テ動植物方面ノ調査ニ着手スベク申合セタリ

一、協議事項

(1) 史蹟名勝天然紀念物ヲ教育上ニ活用スベキ方法如何

イ、實物探勝   ロ、同上講話   ハ、作文、唱歌上ノ活用

(2) 同   上 指定前適當ナル保護方法

イ、保護委員ノ設置   ロ、其ノ他郡市町村關係者ト協議ノ上適當ノ方法ヲ講ズル事

(3) 同   上 宣傳ノ方法

イ、鐵道省ニ於ケル各驛ノ「名勝案内」ニ揭示方依頼   ロ、報告書ノ出版

ハ、講話會ノ開催   ニ、詩歌俗謡等ノ募集   ホ、景色投票

ヘ、福井縣八景、同上百景、ノ撰定出版

同   天然紀念物十種

(4) 同   上 本年度ニ於ケル調査ノ方針

イ、動植物方面ノ調査ニ着手スルコト

ロ、委員ニ對シ調査上ノ便宜ヲ與ヘラル、様郡市役所、町村役場、小學校長等ニ通牒ノコト

ハ、委員ノ證明ニ關スルコト

(5) 石徹白村歴史關係品保存ノ件

イ、調査ヲ大野中學校委員ニ囑託スルコト

一、閉會 午後五時

三



史蹟名勝天然紀念物調査委員會 (第二回)

大正十三年六月二十三日午後一時ヨリ於本縣參事會室

一、出席員 副委員長 東根理事官

一番ヶ瀬、野村、橋高、田代、木村、武田、金粕、吉竹、大矢、内田ノ各委員  
(白崎、安藤兩氏欠) 本莊書記

二、協議事項

(1) 若越八景、候補地

金ヶ崎ヨリ敦賀港ヲ臨ム

東尋坊ノ勝景

和田海岸ヨリ高濱灣ヲ臨ム

三方湖畔

四ヶ浦海岸

法善壁

小濱海岸外面

部子山

補 缺 (和田海岸ニ對スルモノ)

足羽山ヨリ福井市ヲ俯瞰ス

(2) 福井縣史蹟七勝候補地

曹洞宗大本山永平寺

敦賀郡敦賀町  
坂井郡雄島村  
大飯郡和田村  
三方郡八村  
丹生郡四ヶ浦村  
大野村下穴馬村  
遠敷郡小濱町  
今立郡上池田村  
福井市  
吉田郡志比谷村

官幣大社氣比神宮

新田義貞戰死ノ趾

(附) 別格官幣社藤島神社

福井城趾

吉崎御坊

下長谷ノ洞窟

丸岡城趾

(3) 天然紀念物七種候補地

十二抱ノ大杉

常神ノ蘇鐵

批把自生地

自然砒(俗名金平糖石)

夜叉ヶ竹

越前すわい蟹

霞ガコ

一、閉會 午後五時

敦賀郡敦賀町  
吉田郡西藤島村燈明寺曠  
福井市足羽山  
福井市城町  
坂井郡吉崎村  
南條郡河野村  
坂井郡丸岡町  
大野郡石徹白村  
三方郡西田村  
大飯郡大島村冠者島  
大野郡味見村下味見  
南條郡堺村  
越前海一帯

史蹟名勝天然紀念物調査委員會 (第三回)

- 一、日 時 九月三日午後一時ヨリ
- 二、場 所 於縣會議事堂議員室
- 一、出席 員 南波委員長、松岡副委員長  
一番ヶ瀬、野村、橋高、田代、木村、大矢、金粕、安藤、白崎、吉竹、内田ノ各委員 (武田委員病缺) 本莊書記
- 一、副委員長 開會ノ辭
- 二、委員長 挨拶
- 一、協 議

若越八景 (郡市長ノ内申並第二回委員會ニ内定セル中ヨリ投票ニ依ル)

- 東尋坊 (坂井郡) 小濱外面 (遠敷郡) 三方湖 (三方郡)
- 松原公園 (敦賀郡) 足羽山 (福井市)
- 和田、高濱海岸ヨリ若狹富士ヲ望ム (大飯郡)
- 以上決定但名稱ハ適宜命名ノコト
- 吉崎勝景 (坂井郡) ト四ヶ浦海岸 (丹生郡)
- 法善壁ト錢龜尾 (兩者共大野郡)
- 以上ハ其一ヲ撰定ノコト右實地視察委員ニ左記會長ヨリ指名セリ
- 前者 一番ヶ瀬、内田、木村ノ三委員、白崎委員案内
- 後者 金粕、大矢、野村ノ三委員、吉竹委員案内

史蹟七勝

右委員ハ五日以内ニ調査ヲ遂ゲ即時會長ニ報告シテ會長之ヲ撰定ノコト

- 曹洞宗大本山永平寺 (吉田郡)
- 官幣大社氣比神宮 (敦賀郡)
- 金ヶ崎城趾 (同)
- 新田義貞戰死趾 (吉田郡)
- 附 藤島神社
- 平泉寺三千坊趾 (大野郡)
- 一乗城趾 (足羽郡)
- 丸岡城趾 (坂井郡)
- 但吉崎勝景ガ八景ニ洩レタル場合ハ「吉崎御坊」トシテ本文七勝ニ加ヘ「八勝」トナスコト
- 天然紀念物七種
- 十二抱ノ大杉 (大野郡)
- 常神ノ大蘇鐵 (大飯郡)
- 自然砒 (俗名金平糖石) (大野郡)
- 夜叉ヶ竹 (南條郡)
- すわい蟹 (越前海一帯)
- 九本ダモ (遠敷郡)

- 一、閉 會 午后六時

史蹟名勝天然紀念物保護委員

(足羽郡)

田中藤次郎 土田初太郎 眞杉孝  
高島市松 青山作太郎 吉田武次郎  
平崎清貫 田中傳四郎 中村善右衛門  
佐々木治右衛門 花房青雲 朝倉博  
桑原惣左衛門 廣瀬榮松 善連法信  
岩崎作惠

(吉田郡)

田邊健治郎 西出小右衛門

(坂井郡)

中島藤右衛門 橋嘉之助 山田半兵衛  
東七右衛門 上田義雄 谷本彌市  
豊原仁吉 五十嵐高次 前川治郎百  
廣島嘉人 江川仁海 山田與三右衛門  
渡邊伊平 手島源右衛門  
(丹生郡)  
忌部主税 西彌右衛門 井上彌之助  
小畑捨五郎

(今立郡)

法華治郎三郎 白崎作間 坂野三左衛門  
岡田藤内 北野治野右衛門 牧田助重郎  
小泉正二 宮本清十郎 佐飛博  
高野増之助 大島是喜 岩田眞一  
柳瀬九助 高橋義能

(敦賀郡)

宇野政次郎 宮川左近 横川九兵衛  
岸清松

(三方郡)

山崎多郎吉 山崎幸治郎 北川峯藏  
清水米吉 濱田秀治郎 鷹木喜助  
山木安三郎 高木與右衛門 宇都宮清太郎  
田邊菊藏 三善膳太夫 清水久次郎  
田邊佐太郎 中西彦太郎 東定吉

(遠敷郡)

櫻井藤太郎 辻保太郎 山口嘉七  
吉岡喜兵衛 松見半十郎 稻葉恒治  
伴信興 白井義精 的場辰之助  
橋本善右衛門 竹内繁之丞 前野庄五郎

145  
120

大正十三年九月三十日印刷  
大正十三年十月十日發行

# 福井縣廳

印刷者 岡崎伸二  
福井市佐佳枝上町四十三番地

印刷所 岡崎活版所  
福井市佐佳枝上町四十三番地

藤田耕平  
早佐古清八  
高石清治  
杉山正

小林佐太郎  
奥野收藏  
兼田治三郎

田中敬治郎  
西川隆吉  
下仲龜太郎

14.5  
120



終